

DOWNTOWN : SCENARIO BOOK

これはデザイナーのウェブサイトで公開された 2004 年 9 月 4 日版のシナリオブックを基に和訳し直したものである。

- DOWNTOWN : 歴史的背景
- 主要なイベントの時程表
- ORDER OF BATTLE TABLES(戦闘序列表)
- ORDER OF BATTLE, TABLE(戦闘序列表)A
- ORDER OF BATTLE, TABLE(戦闘序列表)B
- ORDER OF BATTLE, TABLE(戦闘序列表)C
- ORDER OF BATTLE, TABLE(戦闘序列表)D
- ORDER OF BATTLE, TABLE(戦闘序列表)E
- ORDER OF BATTLE HISTORICAL NOTES
- 導入シナリオ : SURFIN' BIRD
- D1: HERE, THERE AND EVERYWHERE
- D2: BEGINNINGS
- D3: YOU KEEP ME HANGIN' ON
- D4: THE WHEEL OF HURT
- D5: SPIRIT IN THE SKY
- D6: RESPECT
- D7: THICK AS A BRICK
- D8: ALL TOMORROW'S PARTIES
- D9: I WISH IT WOULD RAIN
- D10: SMOKE ON THE WATER
- D11: SUPERFLY
- D12: WHAT'S GOING ON
- D13: WILL THE CIRCLE BE UNBROKEN
- D14: WALK ON THE WILD SIDE
- D15: GRAVEYARD TRAIN
- D16: WHERE ARE YOU NOW, MY SON?
- C1: THE MATCH GAME
- C2: FALL ON YOU
- C3: THE DUST BLOWS FORWARD 'N
- THE DUST BLOWS BACK
- DOWNTOWN 年表
- 探知レベル
- プレイの例

DOWNTOWN : 歴史的背景

1960 年代初頭、北ベトナム労働党 (ベトナム民主主義共和国、DRV) は南ベトナムと戦っている南ベトナム「民族解放戦線」(NFL) のゲリラに武器及び人員を送り始めた。南の体制を固め NFL と戦うためにアメリカは戦闘部隊及び物資を送り顧問団を派遣した。アメリカ軍が反政府勢力 NFL や北ベトナム正規軍と交戦するにつれ戦争は激化していった。

補給線は北ベトナムと南ベトナムを分割する非武装地帯 (DMZ) を越え南にまで通じていた、また「ホーチミンルート」として知られるラオスやカンボジアを通っていた。補給源は中華人民共和国 (中国) 及びソビエト連邦 (ソ連) であった。北の道路及び鉄道網は南へ物資を輸送する命綱であり、そして首都ハノイがその中核であった。

1964 年 8 月に起きたアメリカ海軍と DRV の衝突、「トンキン湾事件」はアメリカに北への航空攻撃を行う口実を与えてしまった。リンдон・B・ジョンソン大統領によって示された目標は DRV に対し懲罰的な攻撃を行い「共産主義の侵略」を思いとどまらせることであった。

1964 年の終わり、統合参謀本部は北の補給網に対する航空攻撃を調整するため破壊すべき目標をリストアップした。橋、操車場、埠頭、兵舎、補給集積所などが目標にされた。しかし全面戦争の引き金となる中国、ソ連の直接介入を恐れたジョンソン大統領は制限のない自由な爆撃を許可しなかつ

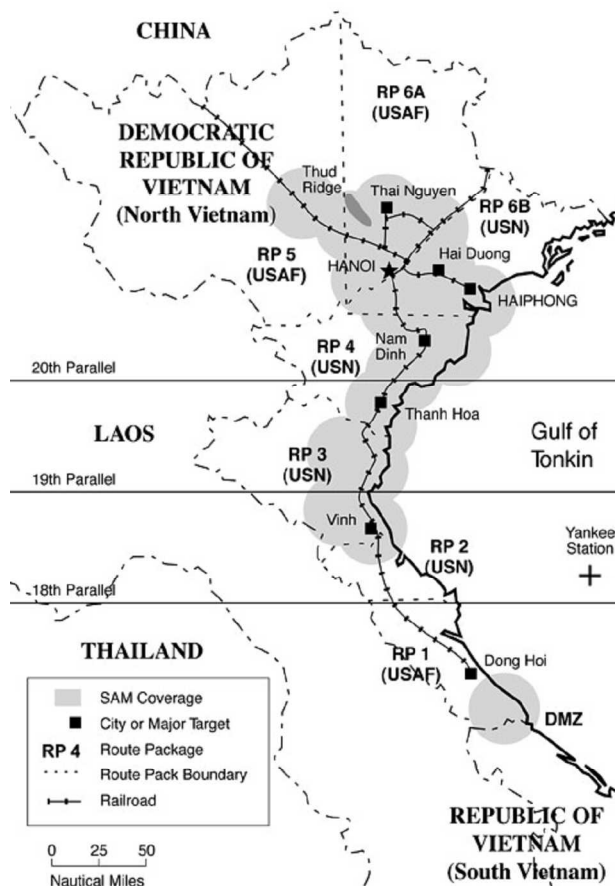
た。攻撃はジョンソン大統領及びロバート・S・マクナマラ国防長官に許可された目標に制限された。

1965 年初頭、北ベトナムへの爆撃ローリングサンダー作戦が承認された。初期の任務は確認された地上部隊や集積所など南の DRV に対して行われた。集積所、基地、補給目標などに大規模な航空攻撃が行われたが大半の任務は「武装偵察」と呼ばれた少数の編隊による道路、鉄道、川に対するパトロールや確認された目標の攻撃であった。

戦争が手に負えないほど激化することを恐れたジョンソンとマクナマラは爆撃計画をワシントンから綿密に管理した。交戦規定により民間人への損害やハイフォン港にいる補給船やベトナム軍の訓練を支援するソ連、中国の顧問団への攻撃を制限した。

しかしながら DRV の指導者へ徐々に圧力をかけるアメリカの「段階的な対応」政策により爆撃目標は拡大していった。そしてそれはハノイに向け北上した。人口密集地を外すことでハノイ及びハイフォン周辺の侵入禁止区域は維持されたがやがてその聖域にも攻撃が及んだ。

アメリカ空軍と海軍は互いに交錯しないように DRV を「ルートパッケージ (RP)」と呼ばれた空域に分割し各空域にどちらかの軍を割り当てた。ハノイ周辺の空域にはルートパッケージ 5 及び 6a (空軍担任) と 4 及び 6b (海軍担任) がある。RP 6a 及び 6b への攻撃が最も困難に思われた。ソ連と中国の援助を受けたベトナム軍は手強い防空システムを構築した。初期には対空砲 (AAA) と MiG 戦闘機だけであったが 1965 年中頃から地对空ミサイル (SAM) が追加された。国土全域をカバーするレーダー網はアメリカの侵攻部隊を察知でき SAM や MiG をそれに差し向けた。



北ベトナム及びルートパッケージ。ゲームマップの範囲は 20 度線から始まる。

この究極の防空域を生き延びるためにアメリカ軍は特殊な戦術を採用した。爆撃機を援護するために大規模な侵攻に支援航空機を随伴させた。支援機には MiG を追い払う戦闘機、

敵のレーダーを無効にするジャミング機、SAM を狩り出し AAA を制圧する「アイアンハンド」戦闘爆撃機があった。ミサイルの攻撃から航空機を守るために新たな電子対策装置 (ECM) が急遽配備された。

1966 年になると北部のルートパッケージでの航空戦闘がより激しくなっていた。AAA による損害が最も多かったが SAM 及び MiG との遭遇数も増えていった。MiG は特別な問題であった、ハノイ周辺に対するアメリカ軍の貧弱なレーダー網により時代遅れの MiG-17 でも襲いかかることができた。空中早期警戒機は超低空を飛行する MiG の探知に深刻な問題を抱えていた。

アメリカ空軍の北への攻撃の多くはタイから行われた。攻撃機は目標空域へ進入する前にラオス上空で再給油できた。時折アメリカ軍は低空を飛行しサッドリッジのような著名な地形を使いレーダーをさせて進入した。通常急降下爆撃により目標を攻撃した後、侵攻部隊はタイへ戻るか比較的安全な海域トンキン湾へ向かった。

海軍の攻撃はヤンキーステーションを巡回する空母群、タスクフォース 77 から行われた。1 つの「アルファストライク」を作るためには 1 個空母航空団が必要であった。海軍の航空機は通常目標へ最短コースで進入し離脱した。

攻撃は戦争の様々な要因で休止する。DRV を和平協定に合意させるためジョンソン大統領が試みた「あめとむち」による政治的な駆け引き。あるいは年間 6 ヶ月に及ぶ爆撃が不可能に近い天候。レーダーや無線ナビゲーションを使用した開発途上の非目視爆撃技術により天候をうち破ることが試されたが良くてもまあまあ、たいていは無駄に終わった。

1967 年、ベトナム軍を和平交渉へ引きずり出すアメリカの最も激しい試みが続けられた。統合参謀本部の示した目標のほとんど全てが攻撃可能となった、立ち入り禁止とされていた飛行場でさえ攻撃することができた。ハノイ中心地 (後に Petula Clark の歌でダウタウンと呼ばれた) 及びハイフォン港だけは攻撃から外された。ベトナム軍の反応はアメリカ軍航空機の撃墜マークを刻むために攻撃的に MiG を送り AAA 及び SAM を使用した。

2 年間にも渡り爆撃を受け続けたベトナム軍は補給物資を分散し攻撃後の補給網の修復及び再構築方法を発達させることによりアメリカ軍の攻撃をあしらうことを身につけた。彼らの戦略には先見の明があった。アメリカ軍をうち負かす必要はなく単に損害を吸収し生き延びれば良かった。

1968 年になるとマクナマラは航空戦力で戦争に勝利することができないと感じ始めた。航空攻撃をものともせず旧正月のテトにハノイ及び NFL は南へ攻勢をかけた。テト攻勢は北及び NFL にとって軍事的には大失敗であったがそれでもアメリカの指導者の立場をなくさせた。ハノイは和平交渉を望みジョンソン大統領は爆撃の停止を提案した。共産主義者はテトの傷をいやすために和平に応じローリングサンダーキャンペーンは終わりを迎えた。

1968 年から 1972 年の初頭までの間、北では主にアメリカ軍の偵察編隊による小規模な爆撃が行われた。北ベトナム軍との和平交渉は膠着状態になった。1969 年、リチャード・ニクソンがジョンソン大統領の跡を継いだ。ニクソンはアメリカが戦争から手を引く一端として部隊の撤退を命令した。同時に外交的駆け引きによりハノイを中国やソ連から孤立させることができた。この結果としてソ連はベトナムへ新型 SAM SA-3 の配備を遅らせた。

1972 年 3 月、DRV は再び大攻勢を行った、今回は通常の機械化部隊によるものであった。南ベトナム軍にかけられた初期の溝は航空戦力の助けによってふさがれた。4 月、ニクソンは北に対する全力攻撃を命じた、空からの容赦のない猛攻撃である。このキャンペーンはラインバックカーと呼ばれた。

ラインバックカーキャンペーンはハイフォン港への機雷敷設から始まり補給物資や経済基盤に対する猛烈な航空攻撃が続

いた。アメリカ空軍の侵攻部隊は少数の爆撃機を非常に多くの支援航空機で援護するため今までに無いほど巨大になっていた。空軍も海軍もこの時点では従来の「素直な」爆弾に比べ格段に精巧な新世代の「スマート」誘導爆弾を使用できた。

いくつかの制限はあったが空軍も海軍も北を自由に攻撃した。にもかかわらずベトナム軍の補給システムに対する結果は期待はずれに終わった。(強力な航空戦力に支えられていたにもかかわらず) 戦場はさらに南下し共産主義者は停戦に合意した。10 月、ニクソンはラインバックカーを終了させた。しかし最後の瞬間に南ベトナムの大統領グエン・バン・チュウはアメリカ軍の最終的な撤退を妨害するために和平交渉を故意に怠った。

爆撃が停止されたにもかかわらず、交渉人が狭まる領域を行き来する間も南部の戦闘は続けられた。ついにニクソンの忍耐も切れ、ハノイに B-52 を使った強力で残忍な夜間攻撃を命令した。この攻撃はラインバックカー と呼ばれたが、最初は計画性と実行力の不足から失敗に終わった。最初の数日 B-52 が多くの損害を受けたため爆撃機はしばらくハノイ空域から遠ざかった、それがキャンペーンの失敗にみられた。しかしながらより良い計画と戦術の選択により戦闘の様相は変わった。B-52 を止めることができなくなった。爆撃を止める手だてがないことを悟ったハノイの指導者は 10 月の停戦に合意し戦争捕虜をアメリカに手渡した。ニクソンは爆撃を停止する前に停戦に合意しないようにチュウ大統領を脅した。北ベトナムに対する航空キャンペーンは終了した。

主要な出来事の時程表

- 1964 年 8 月： トンキン湾事件。報復にピースアロー作戦を行う。
- 1965 年 2 月： 海軍によるフレーミングダート作戦が行われる。
- 1965 年 3 月： ローリングサンダー作戦開始。攻撃はベトナムの突出部に集中した。
- 1965 年 5 月： ローリングサンダー 15、20 度線を越えた最初の攻撃。
- 1965 年 7 月： SAM によるアメリカ軍の最初の損害。
- 1965 年 9 月： ルートパッケージ 6 への最初の攻撃。
- 1966 年 4 月～7 月： ローリングサンダー 50、ハノイ及びハイフォンへの最初の攻撃。
- 1966 年 10 月： SAM に対する防御のため F-105 に ECM を搭載し始める。
- 1967 年 1 月： オペレーションボロー、MiG 一掃作戦が大成功。再び試みるが失敗に終わる。
- 1967 年 2 月～4 月： ローリングサンダー 54、Thai Nguyen 工場を初めて爆撃。
- 1967 年 4 月～5 月： ローリングサンダー 55、Kep 及び Hoa Lac 飛行場を初めて攻撃。ハノイ近くの目標を攻撃し始める。
- 1967 年 5 月～1968 年 5 月： この夏にキャンペーンで最も強烈な爆撃が行われた、ハノイ及びハイフォン周辺の飛行場及び輸送機関を攻撃。1967 年 11 月になると悪天候のために攻撃がゆるんだ。
- 1968 年 4 月～11 月： 11 月に大統領がローリングサンダーを中止するまで攻撃は 20 度線から 19 度線の間に制限された。
- 1968 年 11 月～1972 年 3 月： ルートパッケージ 1 より北の全域で爆撃は中止。
- 1972 年 3 月： DRV のグエン・フエ攻勢が始まる。その地域の航空戦力を増強するためにコンスタントガード作戦を開始。
- 1972 年 4 月： フリーダムトレイン作戦で 20 度線までの目標を攻撃。

1972 年 5 月：ラインバッカー作戦開始。ハイフォン港を機雷封鎖。DRV 全域を目標とした攻撃は 10 月まで続けられた。
1972 年 10 月：爆撃中止。和平を目前にして南ベトナム政府は交渉を怠った。
1972 年 12 月：クリスマス休暇を含む最後の 11 日間にラインバッカーが行われた。
1973 年 1 月：パリで和平協定が調印された。
1973 年 3 月：DRV に捕らわれていたアメリカ軍の戦争捕虜、その多くは航空機の搭乗員が解放された。

Order of Battle, Tables (戦闘序列表)

ローリングサンダー及びラインバッカーキャンペーンにおいてアメリカ空軍及び海軍は目標 [Downtown] に対する侵襲に一般的な戦術及びフォーメーションを用いた。下記の戦闘序列は典型的なフォーメーションを示す。シナリオ特別ルールで特に示されない限りプレイヤーは下記の戦闘序列を使用する。

しかしながらこの戦闘序列に変更が加えられることは珍しいことではない。この表には最も一般的なものを載せたが全ての組み合わせを含んでいない。ラインバッカーなどの一部のキャンペーンでは一般的なフォーメーションを採用していない。そのような戦闘序列は各シナリオに記述されている。

戦闘序列表の使用

戦闘序列は下記のフォーマットに従い記述されている。

編隊の数 {各編隊内の航空機の数} 航空機のタイプ、タスク

例、ある任務に 2x {4} F-4C, CAP と書かれていた。この任務には 4 機の F-4C ファントム編隊が 2 個与えられている。両編隊のタスクは CAP である。

航空機のタイプが示されずタスクが [角括弧書き] されている場合、そのタスクを元に航空機のタイプの決定方法が戦闘序列表に書かれている。

例、1967 年 4 月の侵襲。表 A の USAF の MiGCAP 任務には 2x {4} [CAP] と書かれている。この任務には 4 機の編隊が 2 個与えられている。航空機のタイプを決定するために項目の航空機のタイプを参照しその指示に従う。そこには dr すると書かれている。侵襲の日付から 1-9 で F-4C、10 では F-104S となる。

Order of Battle, Table (戦闘序列表) A

USAF の侵襲、ローリングサンダー-1965-68
昼間、晴天時の一般的な戦闘序列である。

前衛部隊

前衛部隊がマップに進入しない場合、主力部隊の進入によって侵襲は開始される。

ジャミング任務

2x {1} [ジャミング], ジャミング

2x {2} [CAP], CAP

US プレイヤーがスタンドオフジャミングをマップ外で行うことを選択した場合、1 対 1 でスタンドオフジャミングカウンターに置き換えその数の CAP もマップに進入しない。

1967 年 10 月から CAP の両編隊はこの任務から削除される。

ジャミング任務

3x {1} [ジャミング], ジャミング

1967 年 8 月から US プレイヤーは第 2 の任務部隊を受け

取る。2 個以上の編隊を早期警戒ジャミングに割り当てなければならない [27.5]。

主力部隊

アイアンハンド任務

2x {2} F-105F WW, SEAD

アイアンハンド任務は 1965 年 12 月から 1966 年 4 月まで及び 1966 年 6 月からローリングサンダー終了時まで利用できる。

1965 年 12 月から 1966 年 4 月までの間は下記の編隊を使用する。

1x {1} F-100F, SEAD

1x {4} F-105D, SEAD

MiGCAP 任務

2x {4} [CAP], CAP

1967 年 5 月より前は 1 個編隊を除去。

打撃任務

4x {4} F-105D, 爆撃

1967 年 1 月より前は 1 個編隊を除去。

後衛部隊

偵察任務

1x {2} [偵察], 偵察

搭載兵器

打撃任務の全ての爆撃及び攻撃/CAP 編隊は爆弾を搭載する。その他の空対地兵器を搭載できるのは SSR で示された場合だけである。

アイアンハンド任務の全ての SEAD 編隊は爆弾及び (可能ならば) ARM を搭載する。1966 年 6 月から SEAD 編隊に CBU を搭載させることができる。

航空機のタイプ

ジャミング、CAP 及び偵察タスクに使用する編隊の航空機タイプは下記の表で決定する、各タスクは全て同じタイプを使用する。

ジャミングタスク：

1965 年 10 月より前は EB-66C だけを使用する。1965 年 10 月 (含む) からは各ジャミング任務の最初の編隊は EB-66C を使用する。残りは EB-66B を使用する。1967 年 8 月 (含む) から EB-66B の代わりに EB-66E を使用する。

CAP タスク：dr する。

65 年 4 月 ~ 12 月	1-8 : F-4C、9-10 : F-104C
66 年 1 月 ~ 5 月	F-4C
66 年 6 月 ~ 66 年 7 月	1-9 : F-4C、10 : F-104C
67 年 8 月 ~	1-6 : F-4C、7-10 : F-4D

偵察タスク：dr する。

64 年 ~ 65 年 10 月	RF-101C
65 年 11 月 ~ 66 年 9 月	1-7 : RF-101C、8-10 : RF-4C
66 年 10 月 ~	1-5 : RF-101C、6-10 : RF-4C

USAF 戦闘序列の変更

SSR で示されたときにだけ変更を使用する。

ウィーゼル増強： 1967 年 8 月から大きな又は重要な侵攻においてウィーゼル部隊を 2 倍にした。アイアンハンド任務の編隊数を 2 倍にする。

ウィーゼル不足： 1966 年 6 月から 1967 年の初期においてウィーゼルの数が不足していたため通常の F-105D をその穴埋めに使用した。アイアンハンド任務の各編隊が発射できるシュライクの数半分にする。

ファントム侵攻： 1967 年 1 月から 4 月及び 6 月から 9 月の間、打撃任務に F-4C が使われた。ファントム侵攻と示された場合、MiGCAP 任務を削除する。打撃任務の爆撃編隊を下記に変更する。

2x {4} F-4C, 攻撃/CAP

統合侵攻： ファントム侵攻の期間中、相互援助のために F-105 の侵攻に F-4C 攻撃/CAP 編隊を付随させた。統合侵攻と示された場合、下記の部隊を打撃任務に追加する。

2x {4} F-4C, 攻撃/CAP

大規模侵攻： 大規模侵攻には打撃編隊が追加された。打撃任務に F-105 編隊 1 個を追加する。

ポロー： 1967 年 1 月、MiG に対し爆撃を装った戦闘機一掃作戦が行われた。ポロー作戦ではジャミング編隊を除き全て F-4C を使用しそのタスクは全て CAP となる。

Order of Battle, Table (戦闘序列表) B

USN の侵攻、ローリングサンダー及びラインバッカー 1965-73

昼間、晴天時の一般的な戦闘序列である。

前衛部隊

前衛部隊がマップに進入しない場合、主力部隊の進入によって侵攻は開始される。

ジャミング任務

2x {1} [ジャミング], ジャミング

US プレイヤーがスタンドオフジャミングをマップ外で行うことを選択した場合、1 対 1 でスタンドオフジャミングカウンターに置き換える。

ジャミング任務

? x {1} [海兵隊ジャミング], ジャミング

海兵隊のジャミング支援： dr する。7-9 は海兵隊ジャミング編隊を 1 個追加する、10 は編隊を 2 個追加する。6 以下は海兵隊のジャミング支援を得られない。

主力部隊

アイアンハンド任務

2x {2} [SEAD], SEAD

2x {2} [武装護衛], 武装護衛

MiGCAP 任務

2x {2} [CAP], CAP

打撃任務

4x {4} [爆撃], 爆撃

2x {2} [CAP], CAP

打撃任務の CAP 編隊が F-4 の場合、そのタスクは武装護衛に変更される。

後衛部隊

偵察任務

1x {2} [偵察], 偵察

搭載兵器

打撃任務の全ての爆撃編隊は爆弾を搭載する。その他の空対地兵器を搭載できるのは SSR で示された場合だけである。

武装護衛編隊は爆弾を搭載する。F-8 はロケット弾も搭載できる (USN の ADC 注記 [j])。

アイアンハンド任務の全ての SEAD 編隊は爆弾及び (可能ならば) ARM を搭載できる。1966 年 1 月から SEAD 及び武装護衛編隊は CBU を搭載できる。

航空機のタイプ

侵攻を行う空母の ID から下記の表を参照する。下表では各タスクに割り当てた航空機のタイプが示されている。

例、シナリオに示された ID は G - Bon Homme Richard である。全ての武装護衛及び CAP 編隊は F-8E を使用する。全ての爆撃及び制圧編隊は A-4C を使用する。

歴史的注記： 空母の「戦列の日付」はその空母が前線にいた最初の日から最後の日を表す。

武装護衛、CAP、ジャミング及び SEAD 編隊：

複数の航空機タイプが示されている場合、各タスクに 1 タイプ (だけ) を選択する。

例、シナリオに示された ID は K - Hancock である。武装護衛に F-8C 又は F-8E のどちらかを選択する。F-8E を選択した場合には全ての武装護衛編隊は F-8E を使用する。

ジャミング航空機が示されていない場合、海兵隊の支援を除きその侵攻にはジャミング編隊が登場しない。

爆撃編隊：

複数の航空機タイプが示されている場合、下記のいずれかの選択を行う。

(a) そのタスクに使用する航空機タイプを 1 つ選択する。

(b) 2 種類の航空機タイプを選択し 1 タイプを 2 個編隊、もう 1 タイプを 2 個編隊に使用する。

その航空機タイプにアスタリスク (*) が付けられている場合、その航空機タイプは爆撃タスクに 2 個編隊までしか使用できない。

例、シナリオに示された ID は S - Kitty Hawk である。爆撃編隊の構成は下記のいずれかになる。

(a) A-4C 4 個編隊

(b) A-4C 2 個と A-6A 2 個編隊

A-6A にはアスタリスクがあるためそれを 4 個編隊使用することはできない。

航空機タイプが A-6A/C と示されている場合、A-6C は 1 個編隊しか使用できない、残りは A-6A を使用する。

海兵隊のジャミング支援

海兵隊のジャミング編隊は下記の航空機タイプを使用する。**ジャミングタスク：** dr する。

65 年 ~ 66 年 10 月 EF-10B

66 年 11 月 ~ 69 年 11 月 1-5 : EF-10B 6-10 : EA-6A

69 年 12 月 ~ EA-6A

Order of Battle, Table (戦闘序列表) C

USAF 夜間/悪天候の侵攻

序章

夜間及び悪天候、特に地上の霧又は北西モンスーンによる濃密な雲により USAF は目視爆撃が不可能となった。空軍の対地攻撃が夜間及び悪天候によって中断されるため北ベトナムを攻撃する非目視爆撃のテクニックが試された。下記に非目視爆撃作戦の概要を示す。

コマンドネイル

1967 年 4 月から「オペレーション：ノースコープ」(67 年 4.5 月) 及び「オペレーション：コマンドネイル」(67 年 7~10 月) と呼ばれた実験的な侵攻が行われた。これらの作戦は「ライオンライダース」として知られる特別な訓練を受けた搭乗員と改修された F-105F を使用して行われた。後期(日付は定かでないが 67 年の夏以降)は F-4D が夜間任務に使用された。

コマンドネイル： 戦闘序列

夜間及び悪天候時の侵攻がコマンドネイル侵攻に指定されることがあった。

爆撃編隊に F-105F ライオンライダース又は F-4D のどちらかを選択する。侵攻部隊は下記に示すジャミング任務及び打撃任務からなる。

1x {2} F-105F or F-4D, 爆撃
1x {1} EB-66C, ジャミング

コマンドネイル： SSR

- 爆撃編隊はレーダー爆撃能力を使用し攻撃する (F-105、USAF ADC の注記 [Q] を参照)。
- US の侵攻が小規模なため DRV の探知レベルは 3 レベル低下する。

コマンドネイルパバ

コマンドネイルパバとは 1967 年 9 月から 10 月に行われた昼間非目視爆撃任務のコードネームである。通常の昼間侵攻(序列表 A)に加えパスファインダーとして F-105F ライオンライダースが参加した。

コマンドネイルパバ： 戦闘序列

昼間の USAF 侵攻の戦闘序列表 A を使用する。さらに下記のユニットを打撃任務に追加する。

1x {2} F-105F, 爆撃

この編隊はライオンライダースである (USAF ADC の注記 [Q]を参照)。この編隊はレーダー爆撃能力を使用し攻撃するそして他の爆撃編隊のパスファインダーとしても働く。

コマンドクラブ

コマンドクラブとは 1967 年 10 月から 1968 年 4 月に行われた昼間非目視爆撃任務のコードネームである。この任務では無線誘導爆撃のための「コンバットスカイボット」を装備した F-105F が先導する。

コマンドクラブ： 戦闘序列

昼間の USAF 侵攻の戦闘序列表 A を使用する。さらに下記のユニットを打撃任務に追加する。

1x {2} F-105F, 爆撃

この編隊はライオンライダースである (USAF ADC の注記 [Q] を参照)。この編隊は無線誘導爆撃能力を使用し攻撃するそして他の爆撃編隊のパスファインダーとしても働く。

ロラン LORAN

1972 年 8 月から戦争終了時まで USAF はロラン (長距離ナビゲーション) と呼ばれた無線誘導爆撃システムを使用した。ロランを装備した F-4D は悪天候の侵攻でパスファインダーとして機能した。

通常の爆撃ではその地域の天候が良ければ目視爆撃の手順を使用する。目視爆撃を可能とする雲の裂け目がない場合、パスファインダー編隊が非目視爆撃を先導する。

ロラン： 戦闘序列

悪天候時の侵攻がロラン侵攻に指定されることがある。ロラン侵攻には下記の編隊を主力部隊の打撃任務に追加する。

1x {4} F-4D, 攻撃/CAP

この F-4D 編隊は無線誘導爆撃能力 (USAF ADC の注記 [I] を参照) を持ち、他の爆撃編隊のパスファインダーとしても働く。

昼間の USAF 侵攻で戦闘序列表 D を使用しバリエーション「通常の打撃」を適用する場合、主力部隊の打撃任務にパスファインダー編隊を追加する。

打撃任務の全ての編隊は密集フォーメーションを組むべきである。[17.62]

ロラン侵攻では通常の爆弾だけを使用する。PGM は使用できない。

Order of Battle, Table (戦闘序列表) D

USAF の侵攻、ラインバックカー 1972

昼間、晴天時の一般的な戦闘序列である。

前衛部隊

前衛部隊がマップに進入しない場合、主力部隊の進入によって侵攻は開始される。

ジャミング任務

2x {1} EB-66E, ジャミング

US プレイヤーがスタンドオフジャミングをマップ外で行うことを選択した場合、1 対 1 でスタンドオフジャミングカウンターに置き換える。

チャフ任務

2x {4} F-4D, チャフ散布

2x {4} [CAP], CAP

1972 年 6 月より前には CAP 編隊を付けない。

主力部隊

アイアンハンド任務

2x {2} [SEAD], SEAD

1972 年 9 月から下記の編隊をアイアンハンド任務に追加する。

2x {2} F-4E, SEAD

MiGCAP 任務

2x {4} [CAP], CAP

打撃任務

2x {4} F-4D, 爆撃

2x {4} [CAP], CAP

この構成の打撃任務ではレーザー誘導爆弾を使用する。通常の爆弾を使用する侵攻では別の構成をとる。(戦闘序列の変更を参照)

後衛部隊

偵察任務

- 1x {2} RF-4C, 偵察
- 1x {2} [CAP], CAP

搭載兵器

打撃任務の全ての爆撃編隊は LGB を搭載する、ただし「通常の打撃」が適用される場合には全て通常の爆弾を搭載する。その他の空対地兵器は SSR で示されたときにだけ搭載できる。

F-105G WW 及び F-4C WW だけが ARM を搭載できる。SEAD に指定された F-4E は爆弾又は CBU だけを搭載できる。

チャフ散布に指定された編隊はチャフ爆弾を搭載する。1972 年 6 月からチャフディスペンサーを搭載する。

航空機のタイプ

爆撃、CAP 及び SEAD タスクの編隊は下記の航空機タイプを使用する、同じタスクの編隊は全て同じタイプを使用する。

爆撃タスク： dr する。

1972 年 5 月～9 月は F-4D を使用する。

1972 年 10 月以降は PGM で攻撃する場合 F-4D。通常の爆弾を使用する場合、1-5：A-7D 6-10：F-4D。

CAP タスク： dr する。

1-4：F-4D 5-10：F-4E

SEAD タスク： dr する。

1972 年 5 月～9 月は F-105G WW を使用する。

1972 年 10 月以降は 1-8：F-105G WW 9-10：F-4C WW

戦闘序列の変更

SSR で示されたときにだけ使用する。

チャフ任務を強化： DRV 防空の中核に対する攻撃ではチャフの散布が完璧なまでに高められた。チャフ任務に下記の編隊を追加する。

1x {4} F-4D, チャフ散布

ウィーゼル増強： 大きな又は大規模侵攻ではウィーゼル部隊を 2 倍にした。アイアンハンド任務の F-105G 編隊の数を 2 倍にする。

チャフ護衛の不足： いくつかの侵攻では 1 個の F-4 編隊しか割り当てることができなかった。通常この編隊は 2 個の編隊に分割された。チャフ護衛の不足が適用される場合、チャフ任務の CAP 編隊は下記に置き換えられる。

2x {2} F-4, CAP

通常の打撃： ラインバッカーの 2/3 の侵攻は PGM (主にレーザー誘導爆弾) を使用して行われた。とはいえ決めてとなる「ベイクナイフ」レーザー指示ボッドの不足により残りの 1/3 は通常の爆弾が使用された。

通常の打撃侵攻では打撃任務の全ての爆撃タスク編隊を下

記の編隊に変更する。

4x {4} F-4D or A-7D, 爆撃

使用する航空機タイプは爆撃タスクを参照。爆撃編隊は通常の爆弾を搭載する。

大規模侵攻： 重要な目標の攻撃には LGB を搭載する爆撃機が増強された。大規模侵攻では打撃任務の全ての爆撃タスク編隊を下記の編隊に変更する。

3x {4} F-4D, 爆撃

爆撃編隊は LGB を搭載する。

Order of Battle, Table (戦闘序列表) E

戦闘搜索救難 1965-73

USAF の CSAR 任務に下記の部隊を使用する。

USAF CSAR 任務

USAF CSAR 任務の構成：

2x {2} A-1, 救難支援

2x {1} ヘリコプター, 救難支援

1972 年 11 月から A-1 編隊を A-7D に変更する。

航空機は爆弾又は CBU を搭載する。

航空機編隊には Sundry 01 及び Sundry 02 カウンターを使用する。ヘリコプター編隊には Jolly 01 及び Jolly 02 カウンターを使用する。

Order of Battle Historical Notes

戦闘序列の歴史的背景

ローリングサンダー作戦におけるアメリカ空軍

アメリカ空軍のストライクパッケージは洗練された組織であった。その中核は群れを成し目標を攻撃する任務を帯びた F-105 戦闘爆撃機の「打撃」グループであった。他の戦闘機は支援任務を遂行した。支援機の任務は爆撃機を守り抜くことである。科学技術とチームワークに重点を置くストライクパッケージは揺れ動く戦争に置ける典型的なアメリカ手法であった。

侵攻はスタンドオフジャミング編隊の進入で始まる、それらは安全な距離を保ち侵攻ルートにジャミングをかけられるような位置に付く。CAP 編隊は打撃部隊を護衛する純粋な戦闘機である、部隊の先頭に立って MiG を排除する。

後に続くのは偵察機である、戦闘空域を一気に駆け抜けその速度で MiG や対空砲を回避する。

戦争が長引くにつれ DRV の防御態勢は向上し打撃の支援任務も強化された。CAP 編隊が追加され、「ワイルドウィーゼル」SEAD 機が SAM 及びファイヤーカンに対処する任務を帯びた。ローリングサンダーが終わる頃には支援航空機の数に攻撃機 3 機に対し 1 機からほぼ 1 対 1 に増えていた。

アメリカ海軍のアルファストライク

空軍と同じように海軍も爆撃機と支援機によるパッケージを運用した。「アルファストライク」と呼ばれたこのパッケージには 1 個空母航空群のほぼ全てが使用された。

1 つのアルファストライクには同じ空母の航空機が参加したが初期にはジャミング機が不足し、時折 EA-1F ジャミング機が空母から空母へ渡り歩いた。ジャミングはダナンの海兵隊の支援も受けた。

空軍と違い海軍では SEAD 任務に特化した搭乗員がいなかった。海軍の飛行士は SEAD を他の任務と同じものと考えた。それでも海軍はシュライクやスタンダード ARM などの対レーダー新兵器の使用法を開拓した。

海軍の CAP は 2 機編隊を採用した。これは空軍の 4 機編隊より効果的であった。海軍は空軍の古い「フルードフォー」戦術に縛られなかった。

ラインバッカー作戦におけるアメリカ空軍

ラインバッカーで空軍のストライクパッケージは究極の形に発展した。

65%以上の侵攻にレーザー誘導爆弾を使用し目標を正確に攻撃した。しかしレーザー指示ポッド「ペイブナイフ」の数の限りがあったためそれを使用する攻撃も実質的な制限があった。ペイブナイフは非常に高価なためその損失を防ぐために空軍は多大な努力を行った。

ペイブナイフを守るためには爆撃機に対する支援機の割合が重要であった。CAP 戦闘機の数にローリングサンダーのピーク時の 2 倍、SEAD 部隊は F-105 ワイルドウィーズルと F-4E 戦闘機で「ハンターキラー」チームを作り強化された。

最も大きな変革はチャフ散布機の追加である。それは侵攻部隊の先頭を飛行し主力部隊の航路上にチャフの回廊を造った。チャフ回廊は根本的に SAM を無効にしたため DRV は MiG の攻撃でチャフ散布機を混乱させる必要に迫られた。

ラインバッカーの「ゴリラパッケージ」は爆撃機 1 機に対し 5.6 機の支援機を付ける巨大なものとなった。1 発で 1 つの目標を破壊できるレーザー誘導爆弾によって驚異的な結果を残した。

初心者はこちらから始める

導入シナリオ：Surfin' Bird

このシナリオはプレイヤーに航空機の移動と空対空戦闘を習熟させる。さらに AAA の射撃、急降下爆撃及び機銃掃射も学べるだろう。

このシナリオでは US は A-4C を DRV は MiG-17F を使用する。

ゲームを行うために Downtown の全てのルールを読む必要はない。ゲームコンポーネントに関し 2.1-2.3 及び 2.8-2.9 を読み、航空機の移動に関し 4-6 を読む。重要な概念である探知に関しては 10 に、航空戦闘に関し 11 から 13 (11.5 はとばす) に書かれている。最後に燃料に関し 20 を読み、下記のルールを付け足すだけでこのゲームを行うことができる。下記のルールの「角括弧」内の数字は参照すべきルールの章番号である。

対空砲 (AAA) [14]

AAA の集団 [14.1]：AAA は地上のユニットであり軽 (L)、中 (M)、重 (H) の 3 レベルが存在する。いくつかの AAA はマップに直接印刷されている。1 個の軽追加 AAA がこのシナリオで利用できる。これは隠匿配置され (マップ上に置かない) 活動状態になるまで登場しない。1 度登場した AAA は再び隠匿状態になれない。

AAA の活動状態 [14.2]：印刷された AAA はゲーム開始時から活動状態にある。非活動状態 (隠匿状態) の AAA はゲーム開始時又は管理フェイズに活動状態になれる。それ以外に US の編隊が隣接したときにも活動状態になれる。活動状態になった AAA はマップ上に置く。

対空砲の射撃 [14.3]：各 AAA はそれ自身のいるヘクス及びそれに隣接する全てのヘクスに対空射撃ゾーンを作る。目標の探知状態にかかわらず US でも DRV でも編隊が下記の状態になる度に AAA は射撃判定を行う。

- 編隊が移動またはスカッターにより対空射撃ゾーンのヘクスへ進入した。
- 編隊が移動又はスカッターにより対空射撃ゾーン内で高度域を変更した。
- 編隊が対空射撃ゾーン内で IMP を消費し旋回した。
- 編隊が急降下爆撃で「プレス」を宣言した。
- 編隊が対空射撃ゾーン内で敵編隊を攻撃した。対空射撃は防御側編隊のヘクス及び高度域で解決する。

対空射撃の解決 [14.31]：AAA レベル及び編隊の高度域を元に AAA 表の適当な欄でサイコロを 2 個振る (DR する)。

複数の AAA の対空射撃ゾーンが影響している場合、DRV プレイヤーは射撃を行う AAA をどれか 1 つだけ選択する。

例、1 編隊が軽及び中 AAA の射撃ゾーン内を移動した。中 AAA を使用し 1 回だけ対空射撃を判定する。軽 AAA は攻撃しない。

DR が表に示された数値以上であれば射撃は命中する。対空砲損害表で損害を判定する。DR し適当な修正を適用し結果を求める。

結果「D」は 1 機の航空機が軽損害を受ける。結果「C」は 1 機の航空機が重損害を受ける。結果「K」は 1 機の航空機が撃墜される。複数の結果が示されている場合はその全てをその編隊に適用する。

空対地修正 [14.32]：AAA 表に (括弧付きで) 書かれている結果はその対空射撃ゾーンを通過し目視で爆撃を行う編隊への修正である [14.72]。複数の射撃ゾーンが影響する場合、最も大きなマイナス修正だけを適用する。

MiG/AAA の衝突回避：MiG 編隊はスカッターの結果以外によって超低高度でヘクスに進入したときには対空砲の攻撃を受けない。

空対地攻撃 [16-17]

A-4 編隊は地上目標を攻撃するために爆弾を搭載する。さらに機関砲を使い機銃掃射も行える。

編隊は全ての爆弾を投棄又は使用するまで積載状態 [16.21] となる、どちらかの状態になったとき非積載状態になる。積載状態の編隊は積載状態の移動ポイント及び機動値を使用する。全ての爆弾を投棄又は使用した時点から非積載状態の値 [6.2] を使用する。

爆弾の搭載量は ADC に示される攻撃力で表される。編隊は攻撃を行うとき攻撃力の一部又は全部を 0.5 ポイント単位で使用する。攻撃に使用されたポイントは編隊の攻撃力から差し引く。現在保持しているより多くのポイントを攻撃に使用することはできない。

例、攻撃力 2 ポイントを持つ編隊が攻撃を行う。編隊は 1 ポイントをその攻撃に使用した。編隊の残りの攻撃力は 1 ポイントとなった。

攻撃手順 [17.1]：A-4 編隊は発見された NVA ユニットを移動フェイズ中に攻撃できる。それ以外の目標を攻撃できない。

地上目標は目標タイプ [17.13] に分類される、それによって攻撃に修正が加わる。NVA ユニットの目標タイプは D である。

爆撃行程 [17.2]：急降下爆撃を行うために編隊は完全な 1 爆撃行程を行う。編隊は爆撃行程を開始ポイント (IP) から

開始する、IP は目標に隣接するどのヘクスでも良い。爆撃行程を宣言した編隊は IP から目標ヘクスへ旋回せずに直進する。編隊は急降下できる (しなくても良い) が、上昇できない。編隊が目標ヘクスに望む高度域で入り全ての対空砲/SAM 攻撃を解決した後に爆撃を解決する。攻撃を解決した後に編隊は残りの移動を完了させる。

攻撃側は「プレス」を宣言できる、これには有利な攻撃修正が適用される。しかしながら防御側は追加の対空射撃を爆撃の前に行うことができる [14.3]。

機銃掃射は急降下爆撃と同じように行うがその編隊は戦闘推力で超低高度域にいないなければならない。機銃掃射の攻撃力は 1 機あたり 0.5 である。

機銃掃射を行った後、空対空戦闘を行ったものとしてその編隊は弾薬欠乏判定を行う (drm はない) [11.33]。dr が 5 以下のときその A-4C 編隊の機関砲は弾薬欠乏になる。

攻撃は下記の手順に従い解決する [17.4]。

(1) **攻撃欄の計算 [17.41]**：編隊が使用する欄を空対地攻撃表の中から決定する。編隊が使用する爆弾の攻撃力とその編隊の非損害航空機の数に掛けたものが攻撃値となる。その攻撃値以下で最も高い欄を使用する。

例、2 機の A-4C が NVA ユニットを攻撃する、2 ポイントの爆撃力の使用を宣言した。攻撃値は $2(\text{攻撃力}) \times 2(\text{航空機の数})$ で 4 となる。攻撃表の 4 の欄を使用する。

(2) **攻撃判定 [17.42]**：DR 示された修正を適用する。空対地攻撃表の攻撃欄に結果が示される。対空射撃の修正 [14.32] は爆撃行程で通過した全てのヘクス及び高度域に行われたものの中で最大の修正を 1 つだけ適用する。攻撃結果は 0 から 4 の成功値で与えられる。

(3) **損害の解決 [18.2]**：損害を解決するためにそれぞれの成功マークごとに損害表の攻撃成功値に合う欄で DR し結果を求める。結果は下記のとおりである。

NE 効果なし：目標への影響はない。

S 軽損害：NVA ユニットは制圧下となる。(このシナリオでは効果なし)

H 重損害：NVA ユニットは全滅する。

T 完全破壊：NVA ユニットは全滅する。

以上で準備は完了する。

Surfin' Bird シナリオの背景

北ベトナムに対し行われた主な出撃命令は「路線偵察」又は「武装偵察」と呼ばれた小規模な作戦であった。個々の編隊は鉄道、高速道路及び河川を巡回し「仕事」を探した。ある日はトラックを、次の日にはフェリー、そしてまたある日には道路脇の燃料集積場を。とどのつまりは目標のようなものを発見しそれを攻撃するのが彼らの仕事であった。

このシナリオは一般的な路線偵察を再現する。1966 年 10 月 USS Coral Sea から飛び立った 2 機の A-4 が沿岸道路沿いの罠に掛かった。さあ「仕事」を始めよう!

シナリオの説明

これは昼間のシナリオである。目標はヘクス 2715 から 3417 (それらを含む) のいずれかの高速道路上にいる。USN 編隊がいくつかの高速道路ヘクスに隣接する度に dr する、2 以下の場合に NVA ユニットがそのヘクスに登場する。1 度判定したヘクスを再び判定することはない。登場する NVA ユニットの数に制限はない。

セットアップ：侵攻前の手順 [3.1] に替えて下記のステップに従う。

・**DRV**：1 個の軽 AAA を隠匿配置しそれを記録シートに記入する。それは海上でないどのヘクスにでも配置で

きる。

・**DRV**：MiG 準備状態マーカー (2 機の MiG-17F 1 個編隊を表す) を Kien An 飛行場に置く。

・**USN**：2 機の A-4C 1 個編隊を非探知状態で進入矢印 7 から 5 ヘクス以内のマッブ端 (ヘクス列 39) に置く。

・**両軍**：記録シートを記入する。編隊の攻撃値を決定するために各プレイヤーは編隊練度表で DR する、USN のパイロット訓練レベルはレギュラー、DRV はルーキーである。DRV プレイヤーはさらに 1 個のダミー編隊を使用できる [4.12]。

ゲーム開始：プレイエイドの侵攻中の手順 [3.2] に従う。このシナリオでは探知、移動、燃料、追跡及び管理フェイズだけを行う。探知レベル及び GCI レベルは下記による。

探知レベル：US: E, DRV: B

GCI レベル：3

DRV プレイヤーは自分の手番に MiG を離陸させなければならない [9.43]。いずれかの移動フェイズに編隊駒を (非探知面) 飛行場の離陸矢印に向けて置く。

最初のターンその編隊は超低高度域で飛行場ヘクスにいる、そして空対空戦闘を行えない。移動の第 2 ターンその編隊は速度の半分 (切り上げ) の MP で移動する。第 3 ターン以降その編隊は通常の移動を行う。

勝利条件

1 個以上の NVA ユニットを除去し USN 航空機が 1 機も撃墜されなかった場合、US の勝利。1 機以上の A-4 が撃墜された場合、DRV の勝利。それ以外は引き分け。

Surfin' Bird の後

Surfin' Bird を終えた今、通常のシナリオへ移行する準備ができた。下記のルール習得プログラムは完全なゲームを容易に行うためのガイドとして使用されたい。

1. ルール 14-14.3, 16, 17-17.4 及び 18 を読む (AAA、空対地攻撃及び目標の損害)。ルール 27 でセットアップ及び侵攻手順を学びシナリオ **D2: Beginnings** をプレイする。
2. 次にルール 14.4, 15, 19-19.2, 21, 22 及び 24 を読む (ファイヤーカン、SAM、防御ジャミング、ランダムイベント、天候及び偵察任務)。シナリオ **D6: Respect** をプレイする。
3. 17.5 及び 19.3 を読む (ARM 及びスタンドオフジャミング)、これで **D8: All Tomorrow's Parties** のような完全なローリングサンダーシナリオをプレイできる。

全てのシナリオは年月順になっているのでまずはローリングサンダーを行う (D1-D9)。より詳細にまた複雑にしたい場合は上級ルールを追加する。

このゲームを完全に習熟したプレイヤーはラインバッカーシナリオ (D10-D16) へ進む、これ以降のシナリオは最も複雑である。プレイヤーは 19.4 のチャフに関するルールを読む必要がある。これらのシナリオをプレイするときには全ての上級ルールを使用すべきである。

ただしルール 32 (CSAR) だけはプレイヤーの選択で使用する。CSAR 任務はプレイ時間を長くする。

D1: Here, There and Everywhere

背景：1965 年 7 月 24 日、CAP 任務で飛行していた F-4C がソ連から供給された S-75 Divna ミサイルによって撃墜された。SAM による初めてのアメリカ軍機撃墜はワシントン震撼させた。アメリカの調査では時折 SAM サイトの建設が確認されていたがジョンソン大統領及びマクナマラ国防長

官はソ連の軍事顧問に被害を与えることを恐れ、戦争の拡大を避けることにしていた。そこで 1965 年の春から夏にかけて SAM サイトの攻撃は禁止されていた。

SAM は報復に生き延びなければならなかった。7 月 27 日、F-105 による大規模な侵攻が SAM サイト及びその操作員が居住する宿舎に対し行われた。ところがサッドは対空砲の霰に掛かり 4 機が撃墜された。さらに帰投中の衝突により 2 機が失われた。今までの空戦で最も大きな損害を出したが何も得るものはなかった。SAM サイトは木や布で巧妙に作られたダミーであった、ベトナム軍の欺瞞戦術は戦争が続くにつれさらに巧妙になっていった。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	ヘクス	タイプ	担当
1	Lang Son 鉄道橋 (1 橋脚)	0645	A	USAF
2-3	SAM サイト	0904	C	USAF
4	Phu Nien 兵舎	0944	C	USAF
5	Phu Tho 橋 (1 橋脚)	1041	B	USAF
6-7	SAM サイト	1339	C	USAF
8-9	SAM サイト	1537	C	USAF
10	SAM サイト	3526	C	USAF

シナリオ情報

- ・日付：1965 年 7 月
- ・時刻：昼間、1030 時
- ・探知レベル：US: F DRV: C
- ・GCI レベル：1
- ・天候：南西モンスーン、好天
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17); Kep, 1120 (MiG-17)

US の戦闘序列

USAF の侵攻に序列表 A を使用する。目標が SAM サイトの場合、打撃任務を下記の編隊に変更する。

6x {4} F-105D, 爆撃

US パイロット訓練レベル：レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP：6
ダミー編隊：2
調達可能航空機タイプ：MiG-17F

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+2	+4	+10	+14	-

地上ユニット

SAM 大隊：7 (全て発見状態で配置する)
ダミーSAM：2
ダミーレーダー：0
AAA ポイント：6
ファイヤーカン：4

DRV パイロット訓練レベル：ルーキー

SSR

1. 発見されている SAM 及びダミーSAM は次のいずれかのヘクスへ配置する：0904, 1339, 1537, 3526, 2232, 2628, 2549, 2020, 1320。はじめの 4 つは目標リストに指定されている。この 4 つのいずれかに対する侵攻はその SAM 大隊又はダミーSAM を目標とした侵攻となる。全ての SAM 及びダミーは格納状態である。
2. 侵攻の目標がダミーSAM の場合でも US プレイヤーはそれに与えた損害/破壊により勝利ポイントを得る。
3. US プレイヤーは進入矢印 1, 7 及び 8 を使用できない。
4. MiG パニック判定でさらに -1 の修正を受ける [13.12]。
5. F-105 は IRM を搭載できない。
6. SAM に対する攻撃に CBU を使用できる、しかし CBU の攻撃は必ず超低高度域から行う。それより高い高度域からの攻撃は効果がない。初期の CBU には投弾高度に制限があった。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D2: Beginnings

背景：アメリカ海軍による空戦の 4 つ目の勝利は USS コーラルシーから飛び立ったマクインタイヤー少佐によって成し遂げられた。1965 年の終わり頃、海軍は大型のファントム戦闘機の眠っていた戦闘力を引き出し始めた。マクインタイヤーは VF-151 の航空作戦士官補佐としてコーラルシー航空団の空対空戦術の向上に寄与していた。

1965 年 10 月 6 日、コーラルシーから 2 つの攻撃部隊が出撃した。マクインタイヤーは 3 個編隊のスカイホークをエスコートした、その間陽動作戦としてクルセイダーにエスコートされた 2 個編隊のスカイホークが Kep 飛行場を攻撃した。この任務でマクインタイヤーは AIM-7 ミサイルを使い 1 機の MiG-17 (中国の航空機と思われる) を撃墜した。

マクインタイヤーは後にアメリカ海軍空戦機動訓練教範を受け継いだ。それはトップガン戦闘機パイロットスクールを作り上げる計画の始まりであった。

目標

第 1 目標：Vu Chua 鉄道及び道路橋 (1 橋脚)、ヘクス 0918。目標タイプ：B。

第 2 目標：Kep 飛行場、ヘクス 1120。目標タイプ：B。

シナリオ情報

- ・日付：1965 年 10 月
- ・時刻：昼間、1030 時
- ・探知レベル：US: F DRV: C
- ・GCI レベル：2
- ・天候：天候決定を行わない。天候は晴天、もや及び雲は存在しない。
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17); Kep, 1120 (MiG-17)

US 戦闘序列

USN だけの侵攻。US プレイヤーは戦闘序列表を使用せず下記の編隊だけを使用する。

5x {4} A-4C, 爆撃

2x {2} F-8D, CAP

2x {2} F-4B, CAP

US パイロット訓練レベル： レギュラー（例外、F-4B のうち 1 個はベテラン）

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP： 12

ダミー編隊： 2

調達可能航空機タイプ： MiG-17F

増援 MAP： なし

地上ユニット

SAM 大隊： 0

ダミーSAM： 0

ダミーレーダー： 0

AAA ポイント： 4

ファイヤーカン： 0

DRV パイロット訓練レベル： ルーキー

SSR

1. 両方の目標を必ず攻撃する。USN プレイヤーは受け取った編隊を 2 つの攻撃部隊に分け同時にマップへ登場させる。1 つは Vu Chua をもう 1 つは Kep 飛行場を侵攻の目標にする。それぞれに別の航路を計画する。両方の部隊に少なくとも 1 個の A-4 編隊を入れる。
2. マップに印刷された中 AAA は軽 AAA として、重 AAA は中 AAA として扱う。
3. Vu Chua (ヘクス 0918) から 2 ヘクス以内に 2 より多くの AAA ポイントを配置できない。
4. ランダムイベントは行わない。
5. 写真偵察は必要ない、また BDA なしによる VP の喪失もない [24, 27.82]。

勝利条件

通常の勝利条件が適用される [27.8]。ただし、目標の損害 VP は Vu Chua 又は Kep 飛行場のどちらかより大きな損害を与えた方だけしか得られない。

D3: You Keep Me Hangin' On

背景： 1966 年 7 月の初めにローリングサンダー51 が DRV の燃料及び油脂 (POL) 集積所を粉砕する意図を持って開始された。当初成功を収めていたがベトナム軍が計画を改め膨大な POL を国中に分散させたため北ベトナム軍の戦闘能力を大きく減少させることができなかった。

この時期の MiG 防空は未熟であった。地上迎撃管制システムは多くの航空機を指揮できず戦闘機と SAM を統合させることができなかった。その結果 MiG が迎撃に来て SAM が沈黙する「MiG の日」か、MiG は離陸せず SAM が最も大きな脅威となる「SAM の日」のどちらかになった。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	ヘクス	タイプ	担当
1	Thai Nguyen 駐車場	0628	D	USAF
2	Vu Chua 鉄道橋 (1 橋脚)	0918	B	USAF or USN
3	Viet Tri 燃料集積場	1337	D	USAF
4	Bac Giang 燃料集積場	1421	D	USAF or USN
5	Duong Nham 燃料集積場	2013	D	USN
6-7	Phuc Yen 燃料集積場	1529	D	USAF
8-9	Haiphong 燃料集積場	2411	D	USN
10	Co Trai 鉄道橋 (1 橋脚)	2927	B	USN

シナリオ情報

- ・日付： 1966 年 7 月
- ・時刻： 昼間、1030 時
- ・探知レベル： US: E DRV: B
- ・GCI レベル： 2
- ・天候： 南西モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Kien An, 2612 (MiG-17); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。

US パイロット訓練レベル

USAF： レギュラー

USN： F-8 編隊はベテラン、その他はレギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP： 23

ダミー編隊： 2

調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-21F-13

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+3	+7	+10	+16	+23

地上ユニット

SAM 大隊： 15 (5 個を発見状態で配置する)

ダミーSAM： 3

ダミーレーダー： 0

AAA ポイント： 9

ファイヤーカン： 8

DRV パイロット訓練レベル： ルーキー

SSR

1. 早期警戒フェイズに DRV プレイヤーは秘密裏に「MiG の日」か「SAM の日」を決定する。
2. 「SAM の日」を選択した場合、そのシナリオでは MiG 編隊を空中に配置する及び離陸させることができない。ダミーは通常通りにセットアップできる。ただしダミーをシナリオ中に新たに作ることはできない。取り除かれたダミーはゲームに再登場できない。
3. 「MiG の日」を選択した場合、全ての SAM はレーダーのスイッチをオンにできない、また射撃もできない。
4. ジャミングタスク、SEAD タスク及び RF-101C 編隊だけが RWR [15.35] を装備できる。それ以外の全ての US 編隊は RWR を持たないそして防御ジャミング能力もない。
5. USAF は戦闘序列の変更「ウィーゼル不足」を使用す

る。

- ミサイルが不足していたため USN の SEAD 編隊はシュライクの発射可能数が半減する。
- F-105 は IRM を搭載できない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。MiG に撃墜された US の航空機及び搭乗員の VP は 2 倍になる。

D4: The Wheel of Hurt

背景： 1966 年の米国連邦議会の選挙に続きローリングサンダー52 による北ベトナムへの爆撃はエスカレートした。POL への攻撃は失敗とみなされ爆撃は工業目標へ移行した。増加するソーティ数はアメリカ軍の考えに活気を与え始めた。将軍たちは活動が成功するという信念にとりつかれた。昇進は爆撃の結果ではなくソーティ数で決まった。

突然、SAM が空軍のファントムに重大な損害を与え始めた。これは空軍の F-4C がより北のルートパッケージを攻撃し始めたためである。さらにファントムは F-105 部隊が装備していた防御ジャミングポッドを装備せずレーダー警戒装置 (RWR) を搭載し始めたばかりであった。丸裸のファントムは今や SAM にとって格好の目標となっていた。

12 月 2 日になるまで損害は増加した、ある日には 1 日で 8 機 (空軍 5 機、海軍 3 機) もの航空機を失った。航空戦力における戦争中最大の損失を受けたこの日は「不吉な金曜日」と呼ばれた。第 7 航空群は直ちに RWR を装備していない F-4C を SAM 近傍の任務から外した。ファントム CAP は SAM の射程ぎりぎりまでしか攻撃機を護衛できずそれより近づくことができなかった。ベトナム航空戦で新たな幕が開いた。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	1019	1227	1529	1529	1826	2026	2228	2333
1	Kep 燃料集積場	1019	D	USN, 2 Dec					
2	Ha Gia 燃料集積場	1227	D	USAF, 22 Nov					
3	Phuc Yen 燃料集積場	1529	D	USAF, 2 Dec					
4	Phuc Yen 燃料集積場	1529	C	USAF 5 Dec					
5	Phuc Yen 燃料集積場	1529	C	USAF, 8 Dec					
	Phuc Yen 操車場	1529	C						
6	Yen Vien 操車場	1826	C	USN, 13Dec					
7	Yen Vien 操車場	1826	C	USAF, 14Dec					
8	Can Thon 燃料集積場	2026	D	USN, 23 Nov					
	Van Dien 補給所	2228	C						
9	Van Dien 補給所	2228	C	USN, 14 Dec					
10	Xuan Mai 橋 (1 橋脚)	2333	B	USN, 13 Dec					

担当に書かれた日付にその目標への侵攻が行われた。この日付は SSR に関係する。

シナリオ情報

- ・日付：1966 年 11/12 月
- ・時刻：昼間、1030 時
- ・探知レベル：US: E DRV: B
- ・GCI レベル：3
- ・天候：北東モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は SSR を参照する。

US パイロット訓練レベル

- USAF：アイアンハンド/CAP 編隊 ベテラン
その他の編隊 レギュラー
USN：F-8 編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- 基本 MAP：16
ダミー編隊：3
調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-21PF, MiG-21F-13

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+3	+7	+10	+16	+23

地上ユニット

- SAM 大隊：18 (6 個を発見状態で配置する)
ダミーSAM：4
ダミーレーダー：0
AAA ポイント：6
ファイヤーカン：8

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊：ルーキー
MiG-21 編隊：訓練終了

SSR

- 全ての F-4C 編隊はゲームを開始する前に RWR の装備判定を行う。dr し、1-2 で RWR を装備する。
- USAF の侵攻には「ウィーゼル不足」が適用される。戦闘序列の変更を参照。
- USAF の侵攻で打撃任務の F-105 編隊のうち 1 個だけが AIM-9B を搭載できる、その編隊のタスクは攻撃/CAP に変更される。他の F-105 は IRM を搭載できない。
- 11 月 22 日の USAF 侵攻には次の編隊を追加する。
1x {4} F-4C, 攻撃/CAP
- 11 月 23 日の USN 侵攻は 2 つの空母を使用する複合攻撃であった。2 つの USN 侵攻部隊が同時にマップへ進入しそれぞれ別の目標を攻撃する。2 つの空母は Ticonderoga (ID: R) と Coral Sea (ID: Q) である。
- 12 月 2 日の USN 侵攻は空母 Coral Sea (ID: Q) から行われた。
- 12 月 2, 5, 8, 14 日の USAF 侵攻は「大規模侵攻」である。戦闘序列の変更を参照。
- 12 月 13 日の USN 侵攻は空母 Ticonderoga (ID: R) から行われた。
- 12 月 14 日の USN 侵攻は 2 つの空母を使用する複合攻撃であった。2 つの USN 主力部隊は同時にマップ上に存在するが一方の部隊はもう一方の部隊より 10 ゲームターン後に侵入する、そして同じ目標を攻撃する。2 つの空母は Ticonderoga (ID: R) と Franklin D. Roosevelt (ID: P) である。
- 天候決定 dr に +2drmm が適用される。10 より大きい結果は 10 として扱う。雲はヘクス 0130 から 3911 への気象前線の西側に存在する。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D5: Spirit in the Sky

背景： 1967 年春、北東モンスーンは予想より長く続いた。4 月 18 日、空が明るくなり始めた。ハイフォンセメント工場のようなハノイ及びハイフォン周辺の拡張された工業目標はアメリカ軍の侵攻への対応を余儀なくされた。この月の後半、ローリングサンダー中で最も戦闘が激しくなった。4 月の MiG 対アメリカ軍戦闘機の交戦数は 50 を越え、翌月には 72 回を記録した。アメリカ軍の報告に MiG の攻撃性及び熟練度が増加したと記録された。

4 月から 5 月にかけて MiG は絶えずアメリカ軍を攻撃した。DRV の「SAM の日」と「MiG の日」方式は終わった。北ベトナム軍は MiG と SAM をほぼ同時にアメリカの侵攻部隊へ差し向けた。レッドリバーデルタにわたって行われた激しいドッグファイトでベトナム軍は莫大な損害を受けた。彼らはアメリカ軍と真っ向から勝負できないという教訓を再び学んだ。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	ウズ	タイプ	担当
1	Thai Nguyen 鉄工所	0628	B	USAF, 23 Apr
2	Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USN, 24 Apr
	Kep 格納庫		B	USN, 24 Apr
	Hon Gai 操車場	2202	C	USN, 24 Apr
	Hoa Lac 格納庫	2035	B	USAF, 24 Apr
3	Canal des Rapides 橋 (2 橋脚)	1927	A	USAF, 29 Apr
4	Hanoi 火力発電所	1929	B	USAF, 30 Apr
5*	1-5 Hanoi Le Pa 変電所	1929	B	USAF, 25 Apr
	6-10 Haiphon 燃料集積場	2411	D	USN, 25 Apr
6*	6-10 Hanoi 火力発電所	1929	B	USAF, 26 Apr
	1-5 Haiphon 燃料集積場	2411	D	USN, 26 Apr
7	Hanoi 操車場及び整備場	2028	C	USAF, 28 Apr
8	Xuan Mai NVA 兵舎	2334	C	USAF, 19 Apr
9	Haiphon 東火力発電所	2410	B	USN, 20 Apr
	Haiphon 西火力発電所	2411	B	
10	Haiphon セメント工場	2411	B	USN, 22 Apr

目標の注記： dr に*が付いている場合、さらに dr しその日の侵攻の担当を決定する。

担当に書かれた日付にその目標への侵攻が行われた。この日付は SSR に関係する。

シナリオ情報

- ・日付： 1967 年 4 月
- ・時刻： 昼間、1030 時
- ・探知レベル： US: E DRV: B
- ・GCI レベル： 3
- ・天候： 北東モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Cat Bi, 2510 (MiG-17); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21); Dong Suong, 2533 (MiG-17)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は SSR を参照する。

US パイロット訓練レベル

USAF： アイアンハンド編隊 ベテラン
その他の編隊 レギュラー
USN： F-8 編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP： 26
ダミー編隊： 3
調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-21PF, MiG-21F-13

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+6	+10	+13	+20	+32

地上ユニット

SAM 大隊： 23 (7 個を発見状態で配置する)
ダミーSAM： 5
ダミーレーダー： 1
AAA ポイント： 8
ファイヤーカン： 9

DRV パイロット訓練レベル

MiG-17 編隊： 訓練終了
MiG-21 編隊： レギュラー

SSR

1. アイアンハンド任務及び 4 月 24 日の F-4C 打撃任務は CBU [17.61] を搭載できる。
2. 4 月 19 日の侵攻は打撃任務から F-105 編隊を 1 個減少させる。
3. 4 月 20 日の侵攻は次の空母から戦闘序列を選択する： Kitty Hawk (ID: S) or Bon Homme Richard (ID: V)。
4. 4 月 22 日の侵攻は空母 Ticonderoga (ID: R) から行われた。
5. 4 月 23 及び 28 日の USAF 侵攻は「統合侵攻」である。戦闘序列の変更を参照。
6. 4 月 24 日の侵攻はほぼ同時に行われたマルチ目標に対する統制された攻撃であった。これは USAF 1 つと USN 2 つの合計 3 つの侵攻で構成された。USAF の侵攻は「ファントム侵攻」(戦闘序列の変更を参照)で目標は Hoa Lac であった。1 つ目の USN 侵攻の打撃任務は 2x {4} A-6A, 爆撃 及び 3x {2} F-4B, CAP で構成されていた。その目標は Kep であった。(この侵攻は空母 Kitty Hawk, ID: S から行われた。) 2 つ目の USN 侵攻の打撃任務は 2x {4} F-4E, 爆撃 及び 1x {2} F-8E, 武装護衛で構成されていた。その目標は Hon Gai であった。(この侵攻は空母 Bon Homme Richard, ID: V から行われた。) USAF 及び USN は前衛部隊として各侵攻に 1 つのジャミング任務を展開した(戦闘序列表 B を参照、USN スタンドオフジャミングとして EA-1F を使用)。各目標に 1 つの偵察任務を与える(戦闘序列表を参照)。この侵攻にそれ以外の部隊は登場しない。
7. 4 月 25 日の USAF 侵攻は「大規模侵攻」であった(戦闘序列の変更を参照)。4 月 25 日の USN 侵攻は空母 Bon Homme Richard (ID: V) から行われた。
8. 4 月 26 日の USAF 侵攻は「大規模侵攻」及び「統合侵

攻」であった（戦闘序列の変更を参照）。4月26日のUSN 侵攻は空母 Ticonderoga (ID: R) から行われた。

9. 4月25日及び26日はUSAFとUSNの侵攻を同時に行うこともできる。先に書かれた侵攻は1030時に進入する、2つ目の侵攻は30ゲームターン後の1100に進入する。
10. 4月30日のUSAF侵攻は「大規模侵攻」及び「統合侵攻」であった（戦闘序列の変更を参照）。
11. 4月19, 23, 26, 30日のUSAF侵攻からMiG CAP任務を完全に削除する。
12. 4月24日を除くすべてのUSAF侵攻で打撃任務のF-105編隊のうち1個はAIM-9Bを装備できるそしてその編隊のタスクは攻撃/CAPに変更される。その他のF-105はIRMを搭載できない。
13. 4月29日のUSAF侵攻ではF-105編隊の爆弾の攻撃力が3に増加する。これによる搭載状態の最大速度への影響はない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。4月20及び24日の侵攻では目標のVPを合計しルール 27.81 に従い処理する。

D6: Respect

背景： 北部のルートパッケージに対する多くの任務は大規模なものではなかった。全てのレベルの指揮官たちは北ベトナムにおける戦争に関わる建設、修理、備蓄及びその他の戦略行動を監視するために写真を要求した。これらの写真を撮る能力を持つわずかな人工衛星は空中からの目標監視に貢献したが（ソビエト連邦と違い）それが唯一の方法ではないこの任務は空軍及び海軍にも与えられた。

明けても暮れても「単独、非武装で恐れを知らない」偵察機は写真への飽くなき要求を満たすためルートパッケージ 5 及び 6 への任務に飛び続けた。彼らの公式的な評価は低かったが戦略目標の決定及び航空キャンペーンの実行に欠かせないものであった。

このシナリオではこの戦域におけるもっとも長い写真偵察任務の1つを再現する。

目標

- 目標 A：** ヘクス 0247 から 1728（を含む）にある北西鉄道。
目標 B： ヘクス 0627 から 1019（を含む）にある Thai Nguyen – Kep 鉄道。

シナリオ情報

- ・日付：1967年8月
- ・時刻：昼間、1000時
- ・探知レベル：US: D DRV: B
- ・GCIレベル：3
- ・天候：南西モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21);

US の戦闘序列

USAF だけが登場する。US プレイヤーは戦闘序列表を使用しない。下記の編隊だけを使用する。

- 1x {2} RF-4C, 偵察

US パイロット訓練レベル：レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット：なし

地上ユニット

- SAM 大隊：4 (3 個を発見状態で配置する)
 ダミーSAM：2
 ダミーレーダー：0
 AAA ポイント：5
 ファイヤーカン：2

SSR

1. US プレイヤーはどちらかの目標を中高度域で 90% 以上のヘクス（目標 A は 31 のうち 28、目標 B は 11 のうち 10）へ進入又はそのヘクスサイドを通過すれば偵察行程に成功する。高度域が違う、30°を超える旋回、対レーダー戦術 [15.35]、SAM 回避 [15.43] を行ったヘクスはこの条件に含まれない。
2. USAF は進入矢印 A を使用できる。
3. すべての SAM 大隊は 1 回しか射撃できない。[15.44] の例外。
4. DRV プレイヤーは印刷されている AAA を重レベルにアップグレードできない、また重 AAA を調達することもできない。
5. 天候決定 dr 9 は「なし」とみなす。
6. ランダムイベントは行わない。
7. 上級ジャミングルール [19.51] を使用する場合、USAF 編隊が SAM ユニットに対しノイズジャミング能力を失うのは「2 機未満になったとき」に変更される [19.51a]。

勝利条件

どちらかの目標に対する偵察行程を完了させ US 航空機が 1 機も撃墜されなかった場合、US の勝利となる。それ以外は DRV の勝利。

シナリオの変更

DRV は時折 US の偵察任務に対し MiG を迎撃に向かわせた。それに対し US は F-4 を護衛に出した。両プレイヤーがこの変更同意すれば下記の航空機を追加する。

- 1x {2} F-4, CAP (dr し航空機タイプを決定する：1-6 F-4C；7-10 F-4D)

この F-4 は BVR ミサイル攻撃 [11.53] を行える。
 F-4D は AIM-4D IRM を搭載する。

DRV の航空ユニット

- 基本 MAP：14
 ダミー編隊：1
 調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-21PF
 DRV 編隊はスラッシュ攻撃 [11.52] を行える。

DRV のパイロット訓練レベル

- MiG-17：訓練終了
 MiG-21：レギュラー
 勝利条件に変更はない。

D7: Thick as a Brick

背景： 1967 年 8 月になると、1 度はタカ派の爆撃を支持したアメリカ国防長官ロバート・S・マクナマラも航空キャンペーンの失敗に勝利の行方がわからなくなり始めた。マクナマラの敗北主義者的な態度が軍を破滅に導くと信じた軍の指導者は爆撃を支持する強硬派に丸め込まれたジョンステニス上院小委員会によって彼を激しく避難した。

軍を支持するステニス委員会はジョンソン大統領にマクナマラを見放し、新たな目標の対象を広げることで爆撃の拡大を強要した。ローリングサンダー57 の目標リストに追加された 46 個のうち 30 個は道路橋や鉄道橋であった。アメリカ軍はハノイとハイフンの連絡線を断ち切るため両都市の進入禁止区域内にある橋の攻撃を命じられた。最も優先度の高いポールドーマーブリッジは共産圏の船から荷揚げされた補給品のある波止場との重要な連絡路であった。8 月 11 日、アメリカ空軍はこの橋を初めて攻撃した。3 個の航空群によって 94 トンの爆弾が投下され、鉄道橋の 1 スパンと道路橋の 2 スパンが破壊された。

ベトナム軍の MiG は基地が最後に攻撃を受けた 6 月から沈黙していた。しかし 8 月の終わりになると新戦術「スラッシュ攻撃」を持って戦闘に復帰した。アメリカ軍が「暗黒の水曜日」と呼んだ 8 月 23 日の戦闘で MiG は 7 機を撃墜した。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	イキ	タイプ	担当
1	Lang Dang 操車場	0615	C	USAF or USN
2	Dap Cau 鉄道及び道路橋 (1 橋脚)	1523	B	USN
3	Yen Vien 操車場	1826	A	USAF or USN
4-5	Paul Doumer 橋 (6 橋脚)	1928	A	USAF
6	Chap Khe 道路橋 (1 橋脚)	2008	B	USN
7	Hanoi 操車場及び整備所	2028	C	USAF
8	Hai Duong 鉄道橋 (1 橋脚)	2217	A	USN
9	Haiphon 操車場	2410	C	USN
10	Haiphon 橋 (1 橋脚)	2411	A	USN

シナリオ情報

- ・日付：1967 年 8 月
- ・時刻：昼間、1400 時
- ・探知レベル：US: D DRV: B
- ・GCI レベル：3
- ・天候：南西モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は W: Constellation 又は Z: Coral Sea のどちらかを選択する。

US パイロット訓練レベル

- USAF: アイアンハンド編隊 ベテラン
その他の編隊 レギュラー
USN: F-8 編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- 基本 MAP: 10
ダミー編隊: 3
調達可能航空機タイプ: MiG-17F, MiG-21PF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+3	+11	+16	+29	+42

地上ユニット

- SAM 大隊: 23 (8 個を発見状態で配置する)
ダミー SAM: 6
ダミーレーダー: 1
AAA ポイント: 9
ファイヤーカン: 10

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊: 訓練終了
MiG-21 編隊: レギュラー

SSR

1. USAF は進入矢印 A を使用できる。
2. F-4D は AIM-4D IRM を搭載する。
3. USAF の侵攻で打撃任務の F-105 のうち 1 個編隊は AIM-9B を搭載する、その他の F-105 編隊は IRM を搭載できない。
4. USAF が Paul Doumer 橋を攻撃する場合、「大規模侵攻」になる (戦闘序列の変更を参照)。
5. Lang Dang 操車場を攻撃する侵攻では中国緩衝地域へ進入するペナルティ [9.3] が適用されない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D8: All Tomorrow's Parties

背景： 1967 年 10 月、ローリングサンダー中の最後の晴天であると判断された。ローリングサンダー57 の絶頂期であった。ここ数ヶ月の間ハノイブリッジを含む多くの高価値固定目標の攻撃がワシントンに許可されていた。10 月彼らは輸送網特にハノイとハイフン間の鉄道に攻撃を集中した。

引き続き MiG の積極的な攻撃がワシントンに MiG 飛行場への攻撃を許可させた、ついには主要な Phuc Yen 飛行場までも。一方第 7 航空群は戦闘機部隊に MiG をより効果的に識別できる IFF インタロゲーターの使用を許可した。ベトナム軍の損害は増加したが MiG はアメリカ軍の攻撃機に武装投棄を強要させた。

Phuc Yen 攻撃は協調性のなさから反対されたにもかかわらず空軍と海軍の合同作戦として計画された。第 7 航空群の Mommyer 将軍は、MiG はこの春に一掃されているので攻撃は必要ないと主張した。200 人のソ連顧問団が基地にいると信じていた CIA もそれに反対した。最も興味深いのは第 8 TFW の伝説的指揮官ロビン・オールズ大佐が 10 月 2 日ホワイトハウス滞在中の基地攻撃に反対する発言である。「俺は奴らを空中でたたき落としたい。奴らが Phuc Yen から来るのなら良かったが、どこにいるのか俺は知っている。」

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	ハズ	タイプ	担当
1	Thal Nguyen 操車場	0728	C	USAF
2-3	Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF or USN
	Phuc Yen 管制塔		C	
	Phuc Yen 格納庫		B	
4	Canal des Rapides 橋 (2 橋脚)	1927	A	USAF or USN
5	Paul Doumer 橋 (6 橋脚)	1928	A	USAF or USN
6	Paul Doumer フェリー	1928	C	USAF or USN
7	Hai Duong 橋 (1 橋脚)	2117	A	USN
8	Hai Duong 鉄道橋 (1 橋脚)	2217	A	USN
9	Haiphon 造船所	2410	C	USN
10	Cat Bi 飛行場 滑走路	2510	B	USN
	Cat Bi 管制塔		C	
	Cat Bi 格納庫		B	

シナリオ情報

- ・日付：1967 年 10 月
- ・時刻：昼間、1030 時
- ・探知レベル：US: C DRV: B
- ・GCI レベル：3
- ・天候：南西モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は X: Oriskany 又は Z: Coral Sea のどちらかを選択する。

US パイロット訓練レベル

- USAF: アイアンハンド編隊 ベテラン
その他の編隊 訓練終了
- USN: F-8 編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- 基本 MAP: 13
ダミー編隊: 3
調達可能航空機タイプ: MiG-17F, MiG-21PF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+7	+10	+13	+19	+26

地上ユニット

- SAM 大隊: 25 (8 個を発見状態で配置する)
ダミーSAM: 4
ダミーレーダー: 1
AAA ポイント: 8
ファイヤーカン: 11

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊: 訓練終了
MiG-21 編隊: レギュラー

SSR

1. MiG パニック判定 [13.12] でさらに -1drm が適用され

る。

2. F-4D は AIM-4D IRM を搭載する。
3. USAF の侵攻で打撃任務の F-105 のうち 1 個編隊は AIM-9B を搭載する、その他の F-105 編隊は IRM を搭載できない。
4. 爆撃タスクを帯びた A-4 編隊の半分はウォールアイ EOGB を搭載する。
5. シュライクの不足により、USN 航空機のシュライク発射可能数は 1 に減少する。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D9: I Wish It Would Rain

背景: 1967 年 11 月、北西モンスーンがレッドリバーデルタを厚い雲で覆った。月に 2, 3 日しか目視爆撃が行えない空軍は非目視爆撃戦術を使用し攻撃を行った。ラオスに開設されたサイト 85 から発せられた無線ビーコンによってコンバットスカイボッド爆撃システムの使用が可能となった。この装置を装備した F-105F が爆撃編隊のパスファインダーとして飛行した。

しかしながら攻撃は悲惨な結果に終わった。電波情報収集と IFF インタロゲーター能力を統合した USAF EC-121K「リベットトップ」は改良のため前線を離れなければならず、改良されていない EC-121D「カレッジアイ」だけが DRV 空域監視のために残された。この空軍の早期警戒レベルの低下は MiG の活動が活発になったときに起きた。

アメリカ軍の防御ジャミングを一時的に無効にするため SAM 部隊はレーダーの周波数を変更した。DRV はジャミングの有効性を減少させただけでなくパスファインダーに先導された攻撃のために一団となっている爆撃機を発見した。

コマンドクラブに大規模な爆撃編隊の使用を禁止しなければならないほど損害が増加した。今では搭乗員に「コマンドケイジャー」とあだ名された。

目標

US プレイヤーは秘密裏に dr し目標を決定する。

dr	目標	ハズ	タイプ	担当
1-4	Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF
5-6	Thuy Phoung barge construction yard	1829	C	USAF
7-10	Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF

シナリオ情報

- ・日付: 1967 年 11 月
- ・時刻: 昼間、1030 時
- ・探知レベル: US: E DRV: C
- ・GCI レベル: 3
- ・天候: 北東モンスーン、悪天。
- ・オープン DRV 飛行場: Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21); Dong Suong, 2533 (MiG-17)

US の戦闘序列

USAF 侵攻だけが行われる。侵攻はコマンドクラブ侵攻となる。序列表 C のコマンドクラブ戦闘序列を参照する。

US パイロット訓練レベル

アイアンハンド編隊：ベテラン その他の編隊：訓練終了

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP： 13

ダミー編隊： 3

調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-21F-13, MiG-21PF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+6	+10	+13	+21	+29

地上ユニット

SAM 大隊： 8 (2 個を発見状態で配置する)

ダミーSAM： 2

ダミーレーダー： 1

AAA ポイント： 3

ファイヤーカン： 4

DRV パイロット訓練レベル

MiG-17 編隊： レギュラー

MiG-21 編隊： ベテラン

SSR

1. 早期警戒レベルの判定 [27.5] は行わない。レベルは常に「A：良好」となる。
2. US は赤の進入矢印しか使用できない。
3. 全ての CAP タスク編隊は F-4D を使用する。F-4D は IRM に AIM-4D を搭載し機関砲ポッドも装備する。
4. 打撃任務の F-105 のうち 1 個編隊は AIM-9B を搭載する、その他の F-105 編隊は IRM を搭載できない。
5. US の CAP 編隊は BVR ミサイル交戦規定で MiG スクリーンを行える [11.54]。
6. MiG パニック判定 [13.12] でさらに -1drm が適用される。
7. 爆撃を行う US 編隊は爆撃行程を宣言したときから攻撃を解決するまでの間、SAM に対する防御ジャミング能力を失う。
8. SAM 捕捉判定を行うとき全ての防御ジャミング力は半減 (端数切り捨て) する。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。US プレイヤーは目標の損害による VP を 2 倍にする。

D10: Smoke on the Water

背景： 1972 年 3 月、DRV はアメリカ軍の撤退により弱体化した南ベトナムにグエン・フエ攻勢をかけた。ニクソン大統領は大規模な航空戦力を投入することでこの侵攻に力強い反応を要求した。空軍と海軍の航空機は北ベトナム軍と交戦している部隊を支援するため DMZ 南側の目標を攻撃した。航空機は DMZ 北側 20 度線までも攻撃した。

北部のルートパッケージにおける DRV の補給網に対する組織的な一連の攻撃は 4 月 16 日に発令され「フリーダムボーチブラボー」と呼ばれた。この攻撃には最初の B-52 侵攻が含まれていたが人口密集地は避けられた。ベトナムの民衆にとっては大空襲が行われないことがあって恐怖とパニッ

クを引き起こした。恐怖を押しさえるためハノイは B-52 の 1 機を撃墜したが、たいていのベトナム人はその効果に懐疑的であった。

5 月 9 日、ラインバッカー作戦が開始される前のこの日にアメリカ海軍は損失なしでハイフォン港へ機雷を敷設した。他の港に対する機雷敷設を合わせることで北ベトナムへの全ての海運を停止させた。それ以降戦争が終わるまで DRV と外の世界をつなぐ線は中国へ続く細く頼りない鉄道と道路だけとなった。

目標

US の目標は下表による。

目標	値	タイプ	担当
Nguyen Khe 燃料集積場	1628	D	USAF
Gia Thuong 集積場	1928	C	
Duc Noi 集積場	1728	C	
Kien An 弾薬補給所	2612	D	USN
Kien An 飛行場 滑走路	2612	B	
Do Son 燃料集積場	2809	D	
Kien An 燃料集積場	2612	D	USN (B-52)
Haiphong 燃料集積場	2411	D	
Haiphong 港 (機雷原)	2708 2608 2509	-	USN (機雷敷設)
Bac Mai 集積場	2129	C	USN
Van Dren 車両集積場	2327	C	
Gia Lam 燃料集積場	1928	D	USAF, USN (B-52)
Hanoi 燃料集積場	2129	D	
Quinh Loi SAM 集積場	2128	D	
Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF
Son Tay 兵舎及び補給所	1735	D	
Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USAF, USN
Bac Giang 燃料集積場	1421	D	
Phuc Yen 燃料集積場	1529	D	USAF
Viet Tri 燃料集積場	1337	D	
SAM サイト	?	?	USAF, USN
Trai Ca SAM 集積場施設	0626	D	USAF (B-52)
Thai Nguyen 補給所	0728	D	

シナリオ情報

・日付： 1972 年 4 月 16 日及び 5 月 9 日

・時刻

未明侵攻： 夜間、新月、0500 時

朝侵攻： 昼間、0700 時

昼侵攻： 昼間、1200 時

夕侵攻： 昼間、1600 時

夜侵攻： 夜間、2200 時

・探知レベル： US: C DRV: A

・GCI レベル： 4

・天候： 北東モンスーン、好天。朝及び昼侵攻には快晴が適用される。

・オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21); Yen Bai, 0248 (MiG-17, MiG-19, MiG-21)

US の戦闘序列

US プレイヤーは 4 種類の侵攻を行う： USAF 侵攻、USN 侵攻、機雷敷設侵攻、B-52 侵攻。USAF 侵攻では序列表 D を USN 侵攻では序列表 B を使用する。空母 ID は： ddd – Constellation, eee – Coral Sea, fff – Hancock, ggg – Kitty Hawk

の中から選択する。

B-52 侵攻： B-52 侵攻は USAF 又は USN 侵攻と示されている。序列表 D 又は B に示されるジャミング、MiG CAP、アイアンハンド及び偵察任務を使用する（全ての武装護衛編隊は削除する）、打撃任務の編隊は下記に変更する。

打撃任務

6x {3} B-52D, 爆撃

さらに USAF でも USN でも前衛部隊のチャフ任務は下記の編隊で構成する。

5x {4} F-4D, チャフ散布

機雷敷設侵攻： 機雷敷設は USN の侵攻である。打撃任務を下記の編隊に変更する。

打撃任務

2x {3} A-7A, 爆撃

1x {3} A-6A, 爆撃

US パイロット訓練レベル

USAF：アイアンハンド編隊 ベテラン

その他の編隊 レギュラー

USN：CAP/武装護衛編隊 トップガン

その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP：26 又は 0 (SSR 3 を参照)

ダミー編隊：3

調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-19S, MiG-21PFM, MiG-21MF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+4	+9	+18	+27	+36

地上ユニット

SAM 大隊：25 (8 個を発見状態で配置する)

ダミーSAM：4

ダミーレーダー：1

AAA ポイント：10

ファイヤーカン：11

DRV パイロット訓練レベル

MiG-17 編隊：ルーキー

MiG-19 編隊：訓練終了

MiG-21 編隊：レギュラー

SSR

- このシナリオは 4 つの侵攻を 1 つずつ行う「ミニキャンペーン」である。28.43 (損害及び破壊の継続) 及び 28.44 (SAM の弾薬) 以外のキャンペーンルールは使用しない。
- US プレイヤーは夜間侵攻のどちらか 1 つ、朝、昼及び夕侵攻の 4 つを行う。夜間侵攻は未明又は夜から選択できる。夜間侵攻は B-52 侵攻を行う。昼間侵攻のうち 1 つは機雷敷設侵攻を行う。B-52 侵攻及び機雷敷設侵攻は 1 回ずつしか行えない。それ以外の侵攻は USAF 及び USN 侵攻を US プレイヤーが選択できる。
- 朝及び夜間侵攻の DRV MAP は 0、他の侵攻は 26 である。増援 MAP は全ての侵攻で利用できる、しかし全ての侵攻の増援 VP が勝利ポイントに加算される。

- 複数の目標が示されている場合、1 つの侵攻でその全ての目標を攻撃できる。
- 機雷敷設侵攻では示された全ての Haiphong 港ヘクスを攻撃する。爆撃編隊は特別な機雷兵器を搭載する (機雷敷設ヘクスでしか使用できない通常の爆弾として扱う)。機雷を敷設するにはそのヘクスを目標として超低高度域で水平爆撃行程を完了しなければならない。爆撃行程を完了した各航空機はそのヘクスに 1 ポイントの機雷を敷設する。攻撃判定は行わない。
- 目標が SAM サイトの場合、DRV のマップ上のセットアップが終了した後に US プレイヤーは 3 つの SAM サイトを目標に選ぶ。3 個の発見状態の SAM を目標に選択できる、それがダミーでも損害又は破壊により勝利ポイントを得る。
- USAF 侵攻は「大規模侵攻」である。(戦闘序列の変更を参照)
- CAP タスクの全ての F-4D は IFF インタロゲータを装備する [11.54]。
- B-52 侵攻 (だけ) では緑色の進入矢印を使用できる。
- B-52 編隊は空対空戦闘、MiG パニック及びモラルチェックの結果で兵器を投棄しない。
- USN 侵攻では爆撃タスクの半分の編隊が EOGB を使用できる。

勝利条件

4 つの侵攻が全て終了してから勝利の判定を行う。

通常の勝利条件を適用する [27.8]。ただし目標の損害で得る通常の VP は無視する、その代わりに重損害を与えた目標 (SAM サイトは軽損害でも) ごとに 1VP を完全破壊した目標ごとに 2VP を得る。3 機雷ポイントの敷設に成功するごとに 1VP を得る。

例、Nguyen Khe 燃料集積場、Gia Thuong 集積場、Duc Noi 集積場を攻撃した場合、その全てを完全破壊すれば $3 \times 2 = 6VP$ を得る。

勝利レベルは通常の VP 合計から判定される。

D11: Superfly

背景： DRV による 1972 年春の攻勢に対するアメリカの対応はローリングサンダーに匹敵する航空戦力を東南アジアにすばやく展開することであった。アメリカの地上部隊を投入することなくこの攻勢を止めるために阻止作戦が実施された。ニクソン大統領はローリングサンダーで課した交戦規定の多くを廃止した。しかしながら初期の攻撃は悪天候によって失敗に終わった。

5 月の初旬になると天候は回復し始めた。南ベトナムは強烈な圧力にさらされアメリカの航空戦力でもその流れを変えることができなかった。そこでニクソンは北の補給網に対するキャンペーン「ラインバッカー作戦」を発動した。

ローリングサンダーから数年たった両軍の部隊はともに改良されていた。DRV は手強い SAM や AAA に加えより多くの MiG を使用できた。USAF の装備、フォーメーション及び戦術は改良されていた、特に精密誘導爆弾の導入が大きく影響した。一方海軍ではトップガンスクールによる空戦の訓練に多くの努力が払われた。

1972 年 5 月 10 日、空軍と海軍は大挙してレッドリバーデルタを攻撃した。ベトナム軍の MiG は最大数で迎撃にあがり戦争中最大の航空戦が開始された。

目標

US の目標は下表による。

目標	イクス	タイプ	担当
Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF
Phuc Yen 管制塔		C	
Phuc Yen 格納庫		B	
Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF
Hoa Lac 管制塔		C	
Hoa Lac 格納庫		B	
Bac Mai 防空センター	2129	A	USAF
Paul Doumer 橋 (6 橋脚)	1928	A	USAF
Canal des Rapides 橋 (2 橋脚)	1927	A	USAF
Bac Giang 橋 (1 橋脚)	1421	A	USAF, USN
Bac Giang 操車場	1421	C	USAF, USN
Hanoi 操車場	2028	C	USAF
Yen Vien 操車場	1826	C	USAF
Kien An 飛行場 滑走路	2612	B	USN
Kien An 管制塔		C	
Kien An 格納庫		B	
Haiphong 鉄道橋 (1 橋脚)	2411	A	USN
Hai Duong 橋 A (1 橋脚)	2217	A	USN
Hai Duong 橋 B (1 橋脚)	2117	A	USN
Hon Gai 港	2202	C	USN

シナリオ情報

- ・日付： 1972 年 5 月 10 日
- ・時刻： USAF： 昼間、0945 時
USN： 昼間、1250 時
- ・探知レベル： US: C DRV: A
- ・GCI レベル： 4
- ・天候： 天候判定を行わない。天候は晴天、快晴が適用される。
- ・オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Yen Bai, 0248 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17); Duong Song, 2533 (MiG-17)

US の戦闘序列

USAF 侵攻に通常のラインバッカー戦闘序列を使用せず下記の戦闘序列を使用する。

前衛部隊	
・ジャミング任務	4x {1} EB-66E, ジャミング
・チャフ任務	2x {4} F-4E, チャフ散布
・アイアンハンド任務	2x {2} F-105G, SEAD
・MiG CAP 任務	2x {4} F-4D, CAP
主力部隊 A	
・打撃任務	4x {4} F-4D, 爆撃 1x {4} F-4E, CAP
・アイアンハンド任務	2x {2} F-105G, SEAD
主力部隊 B	
・打撃任務	4x {4} F-4D, 爆撃 1x {4} F-4E, CAP
・アイアンハンド任務	2x {2} F-105G, SEAD
後衛部隊	
・偵察任務	1x {2} RF-4C, 偵察 1x {4} F-4E, CAP

USN 侵攻は序列表 B を使用する。空母 ID は ddd – Constellation, eee – Coral Sea, ggg – Kitty Hawk である。

US パイロット訓練レベル

- USAF： アイアンハンド編隊 ペテラン
その他の編隊 レギュラー
- USN： CAP/武装護衛編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- 基本 MAP： 60
ダミー編隊： 4
調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-19S, MiG-21PFM, MiG-21MF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+10	+15	+30	+40	+54

地上ユニット

- SAM 大隊： 23 (7 個を発見状態で配置する)
ダミーSAM： 6
ダミーレーダー： 1
AAA ポイント： 10
ファイヤーカン： 12

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊： ルーキー
MiG-19 編隊： 訓練終了
MiG-21 編隊： レギュラー

SSR

1. US プレイヤーは秘密裏に USAF 又は USN 侵攻を選択する。USAF 侵攻の場合は目標を 2 つ選択する、USN 侵攻の場合は目標を 3 つ選択する。
2. USAF 侵攻には A 及び B の 2 つの主力部隊がある。それぞれの主力部隊に別々の目標及び航路を計画する。一方の主力部隊は 5 ゲームターン遅れて進入する。
3. USN 侵攻では (空母ごとに) 3 つの部隊を使用する。海兵隊のジャミング支援はない。前衛部隊は同時に進入できるが 2 つ目の主力部隊は 1 つ目から 10 ゲームターン遅れて 3 つ目の主力部隊はさらに 10 ゲームターン遅れて進入する。それぞれの主力部隊に別々の目標及び航路を計画する。
4. USAF の主力部隊 A の爆撃編隊のうち 3 個編隊は LGB を残りの 1 個編隊は EOGB を搭載する。主力部隊 B は全て通常の爆弾を搭載する。USN の編隊も全て通常の爆弾を搭載する。
5. USAF の CAP タスクの F-4D は IFF インタロゲータを装備する [11.54]。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D12: What’s Going On

背景： Roger Locher はラインバッカーの初日、5 月 10 日に撃墜されてから 3 週間も逃げ回った。食料の欠乏に耐えパラシュート降下した Yen Bai 近くの丘で彼は生き延びていた。

6月1日、LocherはSAMの発射音を聞いた。アメリカ軍の航空機が近くにいと信じた彼は警戒周波数に合わせ無線のスイッチを入れた、それは通過するファントムに受信された。通信はラオスにいる第40搜索救難中隊へ伝えられLocherを探すためのCSAR任務が発動された。

ファントムのCAP編隊に支援された「Sandy」スカイレーダーと「Jolly」ヘリコプターがYen Baiへそっと近づいた、しかし救出部隊は入り江でSAMとMiGに捕まった。第7航空群のVogt将軍はLocherを救出するため北ベトナムにおける全ての攻撃を中止し全力を持って救出作戦を行った、だがそれは翌日になるまで成功しなかった。

目標

降下したUS搭乗員マーカをヘクス0148に置く。1個-1NVAカウンターを同じヘクスに置く。

シナリオ情報

- ・日付：1972年6月1日
- ・時刻：昼間、1130時
- ・探知レベル：US: C DRV: A
- ・GCIレベル：4
- ・天候：南西モンスーン、好天。
- ・オープンDRV飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Yen Bai, 0248 (MiG-17, MiG-19, MiG-21)

USの戦闘序列

序列表Eを使用しUSAF CSAR任務を行う。さらに下記の任務を追加する。

1x {4} F-4E, CAP

USパイロット訓練レベル：ベテラン

DRVの戦闘序列

航空ユニット

基本MAP：13

ダミー編隊：1

調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-19S, MiG-21PFM

増援MAP：なし

地上ユニット

SAM大隊：1 (0個を発見状態で配置する)

ダミーSAM：0

ダミーレーダー：0

AAAポイント：1

ファイヤーカン：0

DRVパイロット訓練レベル

MiG-17及びMiG-19編隊：訓練終了

MiG-21編隊：レギュラー

SSR

- このシナリオでは詳細CSARルール [26.3] を使用する。
- CSAR任務発生判定は行わない、第1ターンに部隊は登場する。
- 第6ターンになるまで搭乗員の捕獲判定を行わない。第6ターン以降の毎ターンに通常の判定を行う。
- SAM大隊はHanoi又はHaiphongから4ヘクス以内に配置しなくても良い。
- DRVの航空ユニットは準備状態で飛行場に配置する。

勝利条件

航空機を失わずに脱出した搭乗員をマップ外まで輸送できればUSプレイヤーの勝利となる。搭乗員をマップ外まで輸送できなかった場合にはDRVプレイヤーの勝利となる。搭乗員を救出できたが1機でもUS航空機が撃墜されたら引き分けである。

D13: Will the Circle Be Unbroken

背景：1972年の5月という月はベトナム人民空軍(VPAF)のパイロットにとって十分な速度を超えることができなかった。ひどい損害と多くの同士討ちによりVPAFの上級司令部は戦闘機部隊の指揮官たちに緊急集会を行うよう要請し、欠落部の検討と向上を求めた。議論はきわめて綿密に行われ効果的であった。攻撃的すぎる指揮官やパイロットは抑制した。打ち負かされたパイロットを適切な訓練を受けさせることなく戦場へ戻す方針は静かに終了した。

1972年6月になると天候も良くなった、より多くのヤンキー航空部隊が飛来しソ連から供給された早期警戒レーダーネットワークへの新たな攻撃が開始された。しかし今回はVPAFもより計画的であった。ロケット防御部隊に有効なUSAFチャフ編隊はMiGへの特別な注意が必要になった。第921 Sao Dao及び第927 Lam Son連隊が主導するMiG-21が攻撃の主力であった。第921のパイロットLo Van Lanh「アイアンバード」はこの夏アメリカ軍に対し名声を勝ち取った。この1ヶ月でMiG-21のパイロットたちは14の勝利を上げたが敵に7機しか撃墜されなかった。

目標

USプレイヤーは秘密裏にdrし目標を決定する。

dr	目標	ヘクス	タイプ	担当
1-2	Thai Nguyen 鉄工所	0628	B	USAF
3	Viet Tri 鉄道橋 (1橋脚)	1337	A	USAF
4	Bac Grang 橋 (1橋脚)	1421	A	USAF or USN
5	Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF
	Phuc Yen 管制塔		C	
	Phuc Yen 格納庫		B	
6	Canal des Rapides 橋 (2橋脚)	1927	B	USAF or USN
7	Duong Nham 燃料集積場	1928	D	USN
8	Bac Mai 防空中枢 HQ	2129	A	USAF or USN
9	Haiphong 鉄道及び道路橋 (1橋脚)	2411	A	USN
10	Phu Ly 鉄道橋 (1橋脚)	3326	B	USN
	Phu Ly 道路橋 (1橋脚)		B	
	Phu Ly トラック集積場		C	

シナリオ情報

- ・日付：1972年6月
- ・時刻：昼間、1400時
- ・探知レベル：US: C DRV: A
- ・GCIレベル：4
- ・天候：南西モンスーン、好天
- ・オープンDRV飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Yen Bai, 0248 (MiG-17, MiG-19)

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 D を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は ggg – Kitty Hawk 又は iii – Saratoga のどちらかを選択する。

US パイロット訓練レベル

USAF：アイアンハンド編隊 ベテラン
その他の編隊 レギュラー
USN：CAP/武装護衛編隊 トップガン
その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

基本 MAP：15
ダミー編隊：4
調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-19S, MiG-21PFM, MiG-21MF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+5	+11	+15	+28	+35

地上ユニット

SAM 大隊：21 (7 個を発見状態で配置する)
ダミーSAM：4
ダミーレーダー：1
AAA ポイント：10
ファイヤーカン：11

DRV パイロット訓練レベル

MiG-17 及び MiG-19 編隊：訓練終了
MiG-21 編隊：ベテラン

SSR

- CAP タスクの F-4D は IFF インタロゲータを使用できる。
- USN 編隊の爆撃タスクの半分は EOGB を使用できる。
- Thai Nguyen 鉄工所に対する USAF 侵攻は「通常の打撃」で行う (戦闘序列の変更を参照)。それ以外の USAF 侵攻の爆撃編隊は LGB を使用する。
- 早期警戒レーダー (EWR) カウンターを 2510, 2027, 2035, 2252 へ配置する。EWR は射撃できないファイヤーカンとして扱う。マップ上に置かれた EWR はスイッチをオンにしてゲームを開始する。いかなる理由でもスイッチをオフにしたらゲーム中に再びオンにすることはできない。2 個の EWR のスイッチがオフになるごとに DRV の探知レベルは 1 下がる。US は EWR からそれを SAM 大隊として VP を得る。
- US は計画フェイズに EWR を攻撃する編隊を指定しなければ EWR に対し ARM を使用できない。EWR の攻撃に指定された編隊は SAM 及びファイヤーカンに対し ARM を使用できない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。

D14: Walk on the Wild Side

背景： ハノイ。1972 年、氷点下の寒い 12 月の夜。防空指揮司令部は外周部のレーダー群からの B-52 の大群が首都に向かって押し寄せて来るという報告であふれていた。DRV の指揮官は 8 年も前からこの時を恐れていた。

最初にアメリカ軍のチャフ編隊が登場した、しかし BUFF を防御するつもりでチャフコリドーは拡散又はコースを外れアメリカ軍の計画は狂ってしまった。チャフ部隊は戦闘に参加していなかった。次に夜間戦闘機をその基地で釘付けにするために F-111 が登場した。10 分遅れて続いた 48 機の B-52 は Noi Bai の第 361 防空師団と第 921 Sao Dao 戦闘機連隊が防御する空域へ満月に照らし出されながら忍び寄った、後に宇宙飛行士となる Pham Tuan が彼の MiG-21 に乗り滑走路で待機していた。

第 1 波の目標はレッドリバー渓谷内の主要な飛行場及びハノイ周辺の集積所と操車場であった。チャフの防御が無いにもかかわらず B-52、特に改良された B-52D はジャミングを大量に噴出し SAM 大隊のレーダーをほとんど盲目にした。しかしながらベトナム軍のミサイル操作員は BUFF の電子防御の隙間を見つけ致命的な一撃を加えた。

目標

US の目標は下表による。

目標	マス	タイプ	担当
Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USAF
Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF
Kinh No 集積場 1	1628	C	USAF
Kinh No 集積場 2		C	
Kinh No 集積場 3		C	
Yen Vien 東操車場	1826	C	USAF
Yen Vien 西操車場		C	
Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF

シナリオ情報

- 日付：1972 年 12 月 18 日
- 時刻：夜間、満月、1840 時
- 探知レベル：US: D DRV: A
- GCI レベル：4
- 天候：天候決定 dr を行わない。超低高度/低高度及び低高度/中高度に濃い雲が存在する。
- オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-21)

US の戦闘序列

全て USAF。下記の部隊を使用する。

前衛部隊	
ジャミング任務	2x {1} EB-66E, ジャミング 2x {2} F-4D, CAP
主力部隊	
F-111 任務	8x {1} F-111A, 爆撃 (SSR 4)
BUFF 任務	10x {3} B-52D, 爆撃 6x {3} B-52G, 爆撃 (SSR 5)
MiG CAP 任務	2x {2} F-4D, CAP
アイアンハンド任務	1x {2} F-105G WW, SEAD 1x {2} F-4E, SEAD
アイアンハンド任務	1x {2} F-105G WW, SEAD 1x {2} F-4C WW, SEAD
後衛部隊：なし	

US パイロット訓練レベル

USAF：ベテラン

DRV の戦闘序列**航空ユニット**

基本 MAP：9

ダミー編隊：2

調達可能航空機タイプ：MiG-21MF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	-	+9	+18	+27	+36

地上ユニット

SAM 大隊：13 (発見状態で配置する SAM は無い)

ダミーSAM：0

ダミーレーダー：0

AAA ポイント：0

ファイヤーカン：6

DRV パイロット訓練レベル：ベテラン**SSR**

- シナリオ開始時、全ての MiG は地上にいる。MiG はいずれかの目標が攻撃される又は B-52 がダウンタウン Hanoi から 10 ヘクス以内に入るまで離陸できない。
- 少なくとも 10 個の SAM 大隊をダウンタウン Hanoi から 4 ヘクス以内に配置する。
- US は示された目標を全て攻撃する。US は F-111 及び BUFF 部隊からなる主力部隊をいくつかの「ミニ侵攻」に分割する、それらはそれぞれに目標が与えられる。SSR 5, 6 を参照。
- F-111 は 8 個の「ミニ侵攻」として扱う。
- B-52 編隊は 5 個の「ミニ侵攻」に分割する、それぞれに目標ヘクスの 1 つを割り当てる。各「ミニ侵攻」は 1 つの打撃任務で構成される。B-52 は目標の攻撃にレーダー爆撃を使用する。
- Yen Vien 及び Kinh No に対するミニ侵攻には少なくとも 3 個の B-52G 編隊を割り当てる。
- US の前衛部隊は探知状態でマップ上のどこにでも配置できる。通常の進入を行っても良い。
- B-52 は第 5 ターンになるまでマップに進入できない。
- BUFF 任務 (B-52) の編隊は進入矢印 A, B, C からしか進入できない。そして進入矢印 1 又は 2 の 5 ヘクス以内から退出する。
- B-52 編隊は計画された航路上で移動フェイズを完了しなければならず、できなければ直ちに任務放棄する。
- 全ての F-4D は IFF インタロゲータを装備する。
- F-4E は CBU を搭載する。
- ビーコンジャミングの修正は+2 ではなく+1 となる。
- B-52 編隊は空対空戦闘、MiG パニック、モラルチェックの結果で空対地兵器を投棄しない。
- 早期警戒の判定を行わない。早期警戒レベルは A：良好である。
- 目標の写真偵察は必要ない、また BDA なしによる VP の損失もない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。ただし目標の損害による VP は無視する。その代わりに目標 1 つを重損害にすると 1VP を、完全破壊することに 2VP を得る。勝利レベル

は通常の VP 合計から判定される。

D15: Graveyard Train

背景： DRV の防空司令部はラインバックー の最初の 3 日間大喜びであった。彼らはベトナムの人民に B-52 を撃墜できると言い続けていた。SAM 防御は BUFF 部隊に恐ろしい損害を与えていた。ベトナム軍はこれを「空のディエンビエンフー」と呼びアメリカ軍を閉め出せると信じた。

しかし 19 回にわたる戦いで SAM は枯渇し始めた。SA-2 ミサイルの組み立てにあるボトルネックがこの兵器の致命的な不足を生んだ。上空を自由に飛び回る USAF の戦術航空機から隠すため SAM は日中倒しておかなければならなかった。アメリカ軍の爆撃後まともな状態にないベトナムの飛行場には地方に待避することなく夜間戦闘に備えたわずかな MiG が残っていた。

12 月 21 日、USAF が精密爆弾で攻撃を行える良い天候であった。一連の小侵攻が複数の目標に対し同時に行われた。

目標

US の目標は下表による。

目標	ヘクス	タイプ	担当
Trung Quan 操車場	1726	C	USAF
Duc Noi 集積場	1728	C	USAF
Hanoi 火力発電所	1929	B	USAF
Hanoi 操車場及び整備場	2028	C	USAF
Hanoi 国際無線受信所	2029	A	USAF
Giap Nhi 操車場	2228	C	USAF

シナリオ情報

- 日付：1972 年 12 月 21 日
- 時刻：昼間、1150 時
- 探知レベル：US: D DRV: A
- GCI レベル：4
- 天候：北東モンスーン。天候決定 dr を行わない。ヘクス 0135 から 3916 に存在する気象前線の東側の超低高度/低高度に濃い雲がある。
- オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-21)

US の戦闘序列

全て USAF。下記の部隊を使用する。

前衛部隊	
ジャミング任務	2x {1} EB-66E, ジャミング
チャフ任務	2x (4) F-4D, チャフ散布 2x (4) F-4E, CAP
主力部隊	
打撃任務 A	6x {4} A-7D, 爆撃 1x {4} F-4D, 爆撃
打撃任務 B	1x {4} F-4D, 爆撃
打撃任務 C	1x {4} F-4D, 爆撃
打撃任務 D	1x {4} F-4D, 爆撃
打撃任務 E	4x {4} F-4D, 攻撃/CAP
打撃任務 F	3x {4} F-4D, 攻撃/CAP
アイアンハンド任務	2x {2} F-105G WW, SEAD 2x {2} F-4E, SEAD
MiC CAP 任務	4x {4} F-4E, CAP 4x {4} F-4D, CAP
後衛部隊：なし	

USパイロット訓練レベル：ベテラン

DRVの戦闘序列

航空ユニット

- 基本MAP：0
- ダミー編隊：2
- 調達可能航空機タイプ：MiG-21MF

増援MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	+9	+14	+18	+28	+42

地上ユニット

- SAM大隊：0
- ダミーSAM：0
- ダミーレーダー：0
- AAAポイント：6
- ファイヤーカン：6

DRVパイロット訓練レベル：ベテラン

SSR

- 早期警戒の判定結果にかかわらず全てのMiGは地上にセットアップする。
- 猛烈な爆撃の結果、全てのDRV飛行場は小規模 [9.41] とする。
- USは示された目標を全て攻撃する。主力部隊の打撃任務A~Fは6個の「ミニ侵攻」を構成する、それぞれに目標ヘクスを割り当てる。各「ミニ侵攻」ごとに別々の航路を計画する。
- USの前衛部隊はマップ上のどこにでも配置できる。
- CAP F-4D (だけ) はIFFインタロゲータを装備する。
- 打撃任務A, E, Fのうち1個F-4D編隊は無線誘導爆撃を使用できる、その編隊は別の編隊のパスファインダーとして行動できる。
- 打撃任務B, C, Dの編隊はLGBを搭載する。その他の編隊は通常の爆弾又はCBUを搭載する。
- 目標の写真偵察は必要ない、またBDAなしによるVPの損失もない。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。ただしUSの航空機が撃墜されるVPは2倍になる。そして目標の損害によるVPは無視する。その代わりに目標1つを重損害にすることに1VPを、完全破壊することに2VPを得る。勝利レベルは通常のVP合計から判定される。

D16: Where Are You Now, My Son?

背景：最初の数日、アメリカ軍の不手際な攻撃のためにラインバックーキャンペーンは危機的な状況に陥っていた。ベトナム軍はもう少し持ちこたえるだけで勝利は目前にあると信じていた。ニクソン大統領は戦略空軍のB-52の重大な損害が局面を変えたことを知った。議会が招集された、戦争費用が枯渇しハノイにいるアメリカ軍の戦争捕虜が見捨てられようとした。全ては12月26日の成り行き次第である。

タイのU-TapaoにいたB-52の指揮官Glinn R. Sullivan 准将はアメリカ戦略空軍司令部(ASC)を戦場から引き上げた。ネブラスカにあるSACの中樞は粗末な作戦とマイクロマネ

ージメントにより計画を台無しにした、彼はグアムの第8航空群の指揮官にSACをやだねた。Sullivanはその後ポートを潰ぐためSACの歴史から吹き消された。

苦い経験から任務の計画に自由を得たGerald Johnson 將軍の第8航空群スタッフは臨機応変に行動した。行列戦術及び波状編隊をやめチャフコリドー及び強力な支援機を伴い一度に多方向から攻撃した。

今度の攻撃は圧倒的であった。北ベトナム軍には損害がひどくこたえた。翌日彼はアメリカ政府と連絡を取り和平交渉に望んだ。

目標

USの目標は下表による。

目標	イタ	タイプ	担当
Thai Nguyen 操車場	0728	C	USAF
Kinh No 操車場	1528	C	USAF
Duc Noi 操車場	1728	C	USAF
Gra Thuong 集積場	1928	D	USAF
Gia Lam 操車場	2027	C	USAF
Giap Nhi 操車場	2128	C	USAF
Van Dien トラック修理場	2228	C	USAF
Haiphong 操車場	2410	C	USAF
Haiphong 変電所	2411	B	USAF

シナリオ情報

- 日付：1972年12月26日
- 時刻：夜間、満月、2120時
- 探知レベル：US: D DRV: C
- GCIレベル：4
- 天候：北東モンスーン、好天。
- オープンDRV飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-21); Kep, 1120 (MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-21)

USの戦闘序列

部隊はUSAFとUSNの混成である。

前衛部隊	
ジャミング任務	3x {1} EB-66E, ジャミング
ジャミング任務	4x {1} EA-6B, ジャミング
主力部隊	
BUFF任務	21x {3} B-52D, 爆撃
	4x {2} B-52D, 爆撃
	15x {3} B-52G, 爆撃 (SSR 3)
アイアンハンド任務	2x {2} F-105G WW, SEAD
	2x {2} F4E, SEAD
アイアンハンド任務	2x {2} F-105G WW, SEAD
	2x {2} F-4C WW, SEAD
アイアンハンド任務	4x {1} F-111A, SEAD
MiG CAP任務	4x {4} F-4D, CAP
MiG CAP任務	4x {4} F-4D, CAP
後衛部隊：なし	

USパイロット訓練レベル：ベテラン

DRVの戦闘序列

航空ユニット

- 基本MAP：9
- ダミー編隊：2

調達可能航空機タイプ： MiG-21MF

増援 MAP

VP	1	2	3	5	8
MAP	-	+9	+18	+27	+36

地上ユニット

- SAM 大隊： 23 (7 個を発見状態でセットアップする)
- ダミーSAM： 2
- ダミーレーダー： 0
- AAA ポイント： 2
- ファイヤーカン： 8

DRV パイロット訓練レベル： ベテラン

SSR

- 全ての MiG は地上にセットアップする。
- US は示された目標を全て攻撃する。B-52 部隊を「ミニ侵攻」に分割しそれぞれに目標ヘクスを割り当てる。SSR 3 を参照
- B-52 編隊を 9 個の「ミニ侵攻」に分割する、それぞれに目標ヘクス 1 個を割り当てる。各「ミニ侵攻」は 1 つの打撃任務で構成される。B-52 は目標の攻撃にレーダー爆撃を使用する。
- 2 機の B-52D 編隊は Giap Nhi 又は Kinh No に対するミニ侵攻に割り当てる。
- F-111 SEAD 編隊はゲーム開始時に発見状態であった SAM ユニットしか攻撃できない。F-111 がその SAM を攻撃する場合、その目標へ全ての攻撃力を使用する。SEAD 任務は進入ヘクスを計画しない。F-111 はいずれかの進入矢印の 5 ヘクス以内から進入できる。US プレイヤーは編隊ごとに進入ヘクスを選択できる、またいくつかのヘクスからでも進入できる。
- US プレイヤーは侵攻前の US 展開フェイズでマップ上に 6 個のチャフコリドーを作ることができる。各チャフコリドーは 16 ヘクスの長さがある。このチャフコリドーはシナリオ終了まで持続する。
- US の前衛部隊はマップ上のどこにでも配置できる。
- B-52 は第 3 ターンになるまでマップに進入できない。
- CAP タスクの F-4D は全て IFF インタロゲータを装備する。
- F-4E は CBU を搭載し、非目視爆撃を行えない。
- ビーコンジャミングの修正は+2 ではなく+1 となる。
- 一般駒が足りないので全ての B-52 編隊は目視確認された状態で侵攻を開始する。B-52 は空対空戦闘、Mig パニック、モラルチェックの結果で空対地兵器を投棄しない。
- 目標の写真偵察は必要ない、また BDA なしによる VP の損失もない。
- 圧倒的な攻撃により DRV の防空網はその機能が低下した。SAM 捕捉判定に -2 DRM を適用する (これは捕捉の維持判定には適用しない)。

勝利条件

通常の勝利条件を適用する [27.8]。ただし目標の損害による VP は無視する。その代わりに目標 1 つを重損害にするとともに 1VP を、完全破壊するごとに 2VP を得る。勝利レベルは通常の VP 合計から判定される。

C1: The Match Game

背景： ローリングサンダー55 でアメリカの北ベトナムに対する戦争は新たな局面を迎えた。2 年もの間 DRV の MiG 基地は攻撃禁止地域にあった、MiG が逃げ込むための安全な聖域である。MiG が空中に上がるまで攻撃できないという交戦規定がアメリカ軍のパイロットたちに大きな不満を抱かせた。ところが大統領は地上の MiG を攻撃する許可を出した。Kep や Hoa Lac のような大規模飛行場が最初に攻撃された。主要基地 Phuc Yen だけが攻撃対象から外された。

発電所が新たな目標に加わった、発電所の破壊は北ベトナムの配電能力を低下させ工業力を崩壊させた。それに対しベトナム軍の MiG は大挙して反撃した。彼らは以前より攻撃的でより巧妙になっていたが数で勝るアメリカ軍に真っ向勝負では勝てないことを再び学んだ。アメリカ軍の編隊に対し向かい合って戦うより追い回し悩ませる方が良いと考えた。MiG パイロットの損害は増えた。

目標

キャンペーンの目標を下表に示す。

目標	ヘクス	タイプ	担当	VP
Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USAF, USN	2/6/9
Kep 管制塔		C		1/4/6
Kep 格納庫		B		1/4/6
Xuan Mai insurgency school	2334	C	USAF	3/7/11
Thal Nguyen 鉄工所	0628	B	USAF	3/7/11
Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF	1/4/7
Hoa Lac 管制塔		C		1/3/4
Hoa Lac 格納庫		B		1/3/4
Canal des Rapides 橋 (2 橋脚)	1927	A	USAF	3/7/11
Hanoi 操車場及び整備場	2028	C	USAF	2/6/9
Yen Vien 操車場	1826	C	USAF	2/6/9
Nguyen Khe 燃料集積場	1628	D	USAF	3/7/11
Ha Dong 陸軍兵舎	2130	C	USAF	3/7/11
Hanoi 操車場	2028	C	USAF	2/6/9
Hanoi 火力発電所	1929	B	USAF	3/7/11
Hanoi Le Pap 変電所	1929	B	USAF	3/7/11
Duong Nham 燃料集積場	2013	D	USN	3/7/11
Haiphong 燃料集積場	2411	D	USN	3/7/11
Haiphong セメント工場	2411	B	USN	3/7/11
Haiphong 東火力発電所	2410	B	USN	3/7/11
Haiphong 西火力発電所	2411	B	USN	3/7/11
Uong Bi 発電所	1909	B	USN	3/7/11
Bac Giang 発電所	1421	B	USAF, USN	3/7/11
Hon Gai 操車場	2202	C	USN	2/6/9
Kien An 飛行場 滑走路	2612	B	USN	1/4/7
Kien An 管制塔		C		1/3/4
Kien An 格納庫		B		1/3/4

シナリオ情報

- 日付： 1967 年 4 月
- キャンペーンの長さ： 5 日
- 探知レベル： US: E DRV: B
- GCI レベル： 3
- 天候： 北東モンスーン、好天。
- オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21); Kien An, 2612 (MiG-17)
- キャンペーンタイプ： 統合

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 A を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は R – Ticonderoga, S – Kitty Hawk, V – Bon Homme Richard から選択する。

US パイロット訓練レベル

- USAF：アイアンハンド編隊 ベテラン
 その他の編隊 レギュラー
- USN：F-8 編隊 トップガン
 その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- MAP プール：240
- ダミー編隊：3
- 調達可能航空機タイプ：MiG-17F, MiG-21F-13, MiG-21PF

地上ユニット

- SAM 大隊：23 (7 個を発見状態で配置する)
- ダミーSAM：4
- ダミーレーダー：1
- AAA ポイント：11
- ファイヤーカン：10

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊：訓練終了
- MiG-21 編隊：レギュラー

SSR

- USN 侵攻では空母を選択する。キャンペーン中に 1 つの空母を 5 回を超えて使用できない。
- USAF 侵攻のうち 1 回はファントム侵攻（戦闘序列の変更を参照）を行う。（ファントム侵攻でない他の）2 回の侵攻を大規模侵攻にできる。
- アイアンハンド任務は CBU を搭載できる。
- USN の爆撃タスク編隊は EOGB を搭載できる。EOGB を使う場合、打撃任務の少なくとも 2 個編隊がこの兵器を搭載する。USN はキャンペーン中に 8 発射分しか EOGB を使用できない。使用できる EOGB はウォールアイである。
- DRV は防御ホイール及び SAM の LOAL を使用できる。
- 打撃任務の F-105 のうち 1 個編隊は AIM-9B を搭載する、その他の F-105 編隊は IRM を搭載できない。
- USAF 侵攻のうち 1 回で F-105 編隊の攻撃力が 3 に増加する（これは橋攻撃用の 3,000 lb 爆弾が使用されたことを表す）。編隊の搭載状態の最大速度に影響しない。
- 飛行場の格納庫に対する攻撃で重損害が出るたびに DRV の MAP プールから 1 を完全破壊が出るたびに 2 を引く。例、Kien An 飛行場の格納庫が 3 回攻撃され重損害 1 回、完全破壊 2 回を受けた。DRV の MAP プールは 5 減少する。
- DRV プレイヤーは飛行場をクローズすることで MAP プールの減少を防ぐことができる。（放棄された飛行場の航空機は分散する）飛行場のクローズはキャンペーン開始前、DRV 回復及び再配置フェイズに行える。この方法でクローズした飛行場はその後クローズのままとなり編隊の修理及び離陸を行えなくなる。

勝利条件

通常の CVP を獲得する。勝利レベルは CVP から下表によ

り決定される。

CVP	勝利レベル
170+	決定的勝利：作戦は大成功と判断された。敵の MiG は中国への撤退を強いられ、統合参謀本部は敵の意欲を挫いたと確信した。
140-169	勝利：戦闘は成功裏に終わった。情報は DRV の軍事施設に十分な損害を与えたことを示している。敵の MiG を封じ込めた。
110-139	不完全な作戦：US の目的は完全には達成されなかった。攻撃は期待はずれに終わり、目標を再び攻撃することになるだろう。
60-109	失敗：US の目的は達成されなかった。北ベトナムは損害を修復し抵抗を無期限に続けられた。MiG は自由に行動できた。
<60	重大な失敗：US は目的の達成に失敗。ハノイは勝利を宣言。新たな攻撃的な MiG が空を支配するだろう。

C2: Fall On You

背景：1967 年の夏、中国及びハイフォンからハノイへの連絡線を切断するために多大な努力が払われた。アメリカ海軍の航空母艦コンステレーションはこの任務に就き 6 月及び 7 月の間に 4 機を失った。

目標

キャンペーンの目標を下表に示す。

目標	イタ	タイ	担当	VP
Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USN	1/4/7
Kep 管制塔		C		1/3/4
Kep 格納庫		B		1/3/4
Hanoi 火力発電所	1929	B	USN	3/7/11
Phu Ly 鉄道橋 (1 橋脚)	3326	B	USN	3/7/11
Van Dien SAM 補給所	2228	C	USN	2/6/9
Uong Bi 発電所	1909	B	USN	2/6/9
Hai Duong 橋 (1 橋脚)	2217	A	USN	3/7/11
Pha Lai フェリー	1818	C	USN	2/6/9
Haiphong 橋 (1 橋脚)	2411	A	USN	3/7/11
Haiphong フェリー	2411	C	USN	2/6/9
Kien An 飛行場 滑走路	2612	B	USN	1/4/7
Kien An 管制塔		C		1/3/4
Kien An 格納庫		B		1/3/4

シナリオ情報

- 日付：1967 年 6 月
- キャンペーンの長さ：3 日
- 探知レベル：US: E DRV: B
- GCI レベル：3
- 天候：南西モンスーン、好天。
- オープン DRV 飛行場：Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-17, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17, MiG-21); Kien An, 2612 (MiG-17)
- キャンペーンタイプ：USN

US の戦闘序列

USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は全て W – Constellation を使用する。

US パイロット訓練レベル： レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

MAP プール： 80

ダミー編隊： 3

調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-21F-13, MiG-21PF

地上ユニット

SAM 大隊： 14 (3 個を発見状態で配置する)

ダミーSAM： 2

ダミーレーダー： 0

AAA ポイント： 6

ファイヤーカン： 6

DRV パイロット訓練レベル

MiG-17 編隊： 訓練終了

MiG-21 編隊： レギュラー

SSR

- DRV は少なくとも 6 個の SAM を Hanoi から 4 ヘクス以内に配置する。
- USN の爆撃タスク編隊は EOGB を搭載できる。EOGB を使う場合、打撃任務の少なくとも 2 個編隊がこの兵器を搭載する。USN はキャンペーン中に 8 発射分しか EOGB を使用できない。使用できる EOGB はウォールアイである。

勝利条件

通常の CVP を獲得する。勝利レベルは CVP から下表により決定される。

CVP	勝利レベル
60+	決定的勝利： キャンペーンは大成功に終わった。DRV の連絡線は寸断されハノイはハイフォンから孤立した。
47-59	勝利： 攻撃はハノイとハイフォンの補給量を減少させた。キャンペーンは成功と判断された。
37-46	不完全な作戦： US の目的は完全には達成されなかった。攻撃は期待はずれに終わり、目標を再び攻撃することになるだろう。
21-36	失敗： US の目的は達成されなかった。北ベトナムは連絡線を自由に行動できた。
<20	重大な失敗： US は目的の達成に失敗。連絡線にわずかな影響を受けただけであった。ハノイは勝利を宣言。

及びハイフォンから孤立させることを試みた。防空システムにも注意が払われた、飛行場を攻撃し MiG が地方へ疎開することを促進した。

精密兵器は神からの贈り物であった。かつては主要な橋を落とすために幾度も攻撃を繰り返さなければならなかった。新型の爆弾を使用すれば 1 回でそれを成し遂げることができた。北ベトナムの対策は爆撃されるよりも早く鉄道や道路を修理することだけであった。バイパスを造り空から見えない水面下に道路を造った。創意工夫が技術に勝るアメリカに対するベトナム軍の基盤であった、そういった挑戦の神話を作りあげた。

目標

キャンペーンの目標を下表に示す。

目標	イキ	タイプ	担当	VP
Phuc Yen 飛行場 滑走路	1529	B	USAF	2/6/9
Phuc Yen 管制塔		C		1/4/6
Phuc Yen 格納庫		B		1/4/6
Kep 飛行場 滑走路	1120	B	USAF	2/6/9
Kep 管制塔		C		1/4/6
Kep 格納庫		B		1/4/6
Hoa Lac 飛行場 滑走路	2035	B	USAF	1/4/7
Hoa Lac 管制塔		C		1/3/4
Hoa Lac 格納庫		B		1/3/4
Bac Mai 防空センター	2129	A	USAF	3/7/11
Paul Doumer 橋 (6 橋脚)	1928	A	USAF	2/6/9
Canal des Rapides 橋 (2 橋脚)	1927	A	USAF	3/7/11
Bac Giang 橋 (1 橋脚)	1421	A	USAF, USN	3/7/11
Bac Giang 操車場	1421	C	USAF, USN	2/6/9
Bac Giang 燃料集積場	1421	D	USAF, USN	2/6/9
Gia Lam 鉄道修理場	1928	C	USAF	2/6/9
Hanoi 操車場	2028	C	USAF	2/6/9
Kep 操車場	1019	C	USAF	2/6/9
Nguyen Khe 燃料集積場	1628	C	USAF	2/6/9
Phuc Yen 燃料集積場	1529	C	USAF	2/6/9
Yen Vien 操車場	1826	C	USAF	2/6/9
Kien An 飛行場 滑走路	2612	B	USN	1/4/7
Kien An 管制塔		C		1/3/4
Kien An 格納庫		B		1/3/4
Haiphong 燃料集積場	2411	D	USN	3/7/11
Haiphong 操車場	2410	C	USN	2/6/9
Harphong 鉄道橋 (1 橋脚)	2411	A	USN	3/7/11
Nam Dinh 補給所	3521	C	USN	1/4/7
Phu Ly 鉄道橋 (1 橋脚)	3326	B	USN	3/7/11
Phu Ly 道路橋 (1 橋脚)	3326	B	USN	3/7/11
Hai Duong 橋 (1 橋脚)	2217	A	USN	3/7/11
Me Xa 橋 (1 橋脚)	2117	A	USN	3/7/11
Hon Gai 港	2202	C	USN	2/6/9

C3: The Dust Blows Forward'n the Dust Blows Back

背景： 1972 年 5 月、ラインバッカー作戦でレッドリバーデルタに大挙してアメリカの航空戦力が戻った。第 7 航空群の Vogt 将軍が DRV の防空網を激しく攻撃する間、タスクフォース 77 の海軍航空機は海岸線から北東の鉄道線までの地域をたたきつづいた。チャフコリドーのような新たな戦術はアメリカ軍航空機をハノイ市街地の中心へ浸透させることを可能にした。

ラインバッカー作戦の第 1 目標はハノイを出入りする補給路の動脈であった。高速道路及び鉄道を切断しハノイを中国

シナリオ情報

- ・日付： 1972 年 5 月
- ・キャンペーンの長さ： 5 日
- ・探知レベル： US: C DRV: A
- ・GCI レベル： 4
- ・天候： 南西モンスーン、好天。
- ・オープン DRV 飛行場： Phuc Yen, 1529 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Gia Lam, 2027 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Kep, 1120 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Yen Bai, 0248 (MiG-17, MiG-19, MiG-21); Hoa Lac, 2035 (MiG-17); Kien An, 2612 (MiG-17)

・キャンペーンタイプ： 統合

US の戦闘序列

USAF の侵攻は序列表 D を、USN の侵攻は序列表 B を使用する。海軍の空母 ID は ddd – Constellation, eee – Coral Sea, ggg – Kitty Hawk, hhh – Midway から選択する。

US パイロット訓練レベル

- USAF： アイアンハンド編隊 ベテラン
 その他の編隊 レギュラー
- USN： CAP/武装護衛編隊 トップガン
 その他の編隊 レギュラー

DRV の戦闘序列

航空ユニット

- MAP プール： 300
- ダミー編隊： 4
- 調達可能航空機タイプ： MiG-17F, MiG-19S, MiG-21PFM, MiG-21MF

地上ユニット

- SAM 大隊： 25 (8 個を発見状態で配置する)
- ダミーSAM： 4
- ダミーレーダー： 1
- AAA ポイント： 14
- ファイアーカン： 12

DRV パイロット訓練レベル

- MiG-17 編隊： ルーキー
- MiG-19 編隊： 訓練終了
- MiG-21 編隊： レギュラー

SSR

- ルール 28.31 に従い USAF は 1 日に午前か午後の 1 回しか侵攻を行わない。
- 4 つの空母から 2 つを選択する。この 2 つの空母だけが USN 侵攻に使用できる。1 つの空母は 6 回までしか使用できない。
- USAF 侵攻のうち 1 回は「通常の打撃」（戦闘序列の変更を参照）を行う。1 つの侵攻を「大規模侵攻」にできる。1 つの侵攻を「ウィーゼル増強」にできる。
- USN の爆撃タスク編隊は EOGB 又は LGB を搭載できる。EOGB 又は LGB を使う場合、打撃任務の少なくとも 2 個編隊がこの兵器を搭載する。USN はキャンペーン中に 16 発射分しか EOGB を使用できない。使用できる EOGB はウォールアイ である。
- USAF の F-4D CAP 編隊は全て IFF インタロゲータを装備する。
- 爆撃タスクを帯びた Kitty Hawk の A-7 編隊は爆弾の攻撃力が 2.5 に減少しシュライク (I) を搭載する。シュライクを搭載した爆撃タスク編隊はどの SAM 及びファイアーカンでも攻撃できるが計画された航路からはずれることはできない、またその他全ての爆撃タスクの制限が適用される。

勝利条件

通常の CVP を獲得する。勝利レベルは CVP から下表により決定される。

CVP	勝利レベル
130+	決定的勝利 ： 作戦はすばらしいアメリカ的成功と判断された。士気は高く、US のパイロット達は DRV を打ち負かし戦争はすぐに終わると信じた。
111-129	勝利 ： 戦闘はアメリカ的成功に終わった。情報は DRV の補給システムに十分な損害を与えたことを示している。
91-110	不完全な作戦 ： US の目的は完全には達成されなかった。攻撃は期待はずれに終わり、目標を再び攻撃することになるだろう。
60-90	失敗 ： US の目的は達成されなかった。北ベトナムは損害を修復し抵抗を無期限に続けられた。南方戦域への補給はわずかな混乱を生じただけであった。
<60	重大な失敗 ： US は目的の達成に失敗。ハノイは勝利を宣言。ワシントンは南ベトナムを救えないのではという懸念を抱いた。

DOWNTOWN 年表

これはルールブック、ADC、戦闘序列にみられるルール及び注記に関する日付の要約である。

1965 年

7 月 RF-101 は防御ジャミングを使用できる [USAF RF-101 ADC]

1966 年

- 1 月 USN の SEAD 編隊は CBU を選択できる [戦闘序列表 B]
- 4 月 シュライク ARM を使用できる [16.11; USAF F-100 ADC; USN A-4 ADC]
- 6 月 USAF の SEAD 編隊は CBU を選択できる [戦闘序列表 A]
- 7 月 USN の A-4, F-4, F-8, RA-5 は RWR 及び防御ジャミングを使用できる [USN A-4, F-4, F-8, RA-5 ADC]
- 8 月 シュライクに目標表示機能が付く [17.54]
- 10 月 F-105 は RWR 及び防御ジャミングを使用できる [USAF F-105 ADC]
RF-101 は RWR を使用できる [USAF RF-101 ADC]
- 11 月 USAF F-104 は RWR を使用できる [USAF F-104 ADC]

1967 年

- 1 月 MiG オービットポイントを初めて使用する [9.1]
SAM は LOAL 攻撃を行える [15.51]
ウォールアイ EOGB を使用できる [16.11]
USAF F-4 は防御ジャミングを使用できる [USAF F-4 ADC]
USAF はオペレーションボローを行える（ローリングサンダーキャンペーンのみ）[28.38]
- 3 月 A-4 も EOGB を使用できる [USN A-4 ADC]
- 4 月 USAF F-4 は RWR を使用できる [USAF F-4 ADC]
DRV は防御ホイールを使用できる [7.11]
- 5 月 USAF F-4 はガンボッドを搭載できる [USAF F-4 ADC]
- 8 月 DRV はスラッシュ攻撃を行える [11.52]

- 9月 AAA をサッドリッジに配置できる [27.61]
11月 USAF MiGCAP 任務は MiG スクリーンを使用できる [11.54]
12月 USAF はビーコンジャミングを使用し始める [19.54]

1968 年

- 3月 スタンダード A ARM を使用できる [16.11]
4月 スタンダード B ARM を使用できる [16.11]
EB-66C はスポットジャミングを使用できる [USAF EB-66 ADC]
5月 F-105 もスタンダード A ARM を使用できる [USAF F-105 ADC]

1969 年

- 1月 F-105 もスタンダード B ARM を使用できる [USAF F-105 ADC]
3月 A-6B は PAT-ARM 能力を使用できる [USN A-6 ADC]

1971 年

- 12月 F-4D は IFF インタロゲーターを使用できる [USAF F-4 ADC]

1972 年

- 1月 DRV 戦闘機が SAM の攻撃に緩衝する距離が 5 ヘクスから 3 ヘクスへ減少する [15.42]
ウォールアイ EOGB を使用できる [16.11]
6月 チャフディスペンサーを使用できる [戦闘序列表 D]
8月 USAF は毎日 2 つの侵攻を行い始める (ラインバックキャンペーンのみ)
10月 MiG-19 も R-3S ミサイルを使用できる [DRV MiG-19 ADC]
11月 A-1 Sandy CSAR 部隊は A-7D に換装される
A-6C は LGB を使用できる [USN A-6 ADC]
12月 USAF は緑の進入矢印を使用できる (ラインバックのみ) [8.11]
F-4E も IFF インタロゲーターを使用できる [USAF F-4 ADC]

悪天候の侵攻では探知レベルが 1 低下する。これは地上観測員の貢献度を反映している。

US の探知レベル

US は電子的な探知に依存していた。

USAF はタイ/ラオス国境の地上レーダーを使用していたがそのレーダーではレッドリバーの低高度にいる目標を捉えることができなかった。1965 年からコールサイン「ディスコ」と呼ばれた EC-121D「カレッジアイ」レーダー航空機が運用された、警戒レベルを上げ戦闘機を MiG に差し向けるためトンキン湾又はラオス上空を周回飛行した。地上のレーダーよりも低空をカバーできたがそれでも「地表クラッター」により MiG はレーダースコープから消えた。

1966 年から USN のレーダー船 (コードネーム「レッドクラウン」) がトンキン湾でレッドリバー渓谷を監視し航空機に警告を与えた。しかしながら MiG は海から遠く離れて飛行することでレッドクラウンの低空監視能力を低下させた。

USAF の EC-121 は戦争中改良され続けた。IFF インタロゲーター機器は MiG の ID トランスポンダーを追跡した。当初この IFF 情報は誤射を避けるために使用に制約を受けたが次第に「積極的に」使用されるようになった。EC-121K「リベットトップ」の登場で決定的な信号情報 (SIGINT) 能力が備わった、そして 1972 年の夏、MiG の無線を監視するより高度な SIGINT「ティーボール」が導入された。

日付	探知 レベル	注記
1965/4 – 1966/6	F	「ディスコ」導入
1966/7 – 1967/4	E	「レッドクラウン」導入
1967/5 – 1967/9	D	「IFF 追跡」導入 「リベットトップ」登場
1967/10 – 1972/7	C	「IFF 追跡」積極化
1972/8	B	「ティーボール」導入

1967 年 11 月、リベットトップ航空機は改修のため一線を退いた。(その月、探知レベルは E に低下した。)

1972 年 9 月から IFF を追跡されていると感じた DRV は対策を講じた。(1972 年 9 月から 12 月まで探知レベルは D に低下する。)

探知レベル

プレイヤーの情報として、年月を元に DRV 及び US の探知レベルの変化を概要で示す。ここで示す値はシナリオに合致しない、シナリオの値が常に優先される。

DRV の探知レベル

DRV は 1965 年から 72 年にかけて地上のレーダー網を常に拡張し続けた。これは侵攻部隊を目視で追跡し電話でハノイの防空司令部へ情報を送る地上観測員に支えられていた。レーダー及び目視の情報は空の状況を描くためにフィルターをかけ照合された。司令部のスタッフは目標にロケット部隊 (SAM ユニット) を割り当て、MiG を差し向けた。

日付	探知レベル
1965	C
1966 ~ 1969	B
1970 ~ 1972	A

プレイの例

以下にゲームプレイの一例を示す、実際のプレイテストの第 4 及び 5 ターンに注目した。方向は磁北から示す。

シナリオは D7 : Brick as a Brick 1967 年 8 月である。シナリオの背景を参照せよ。

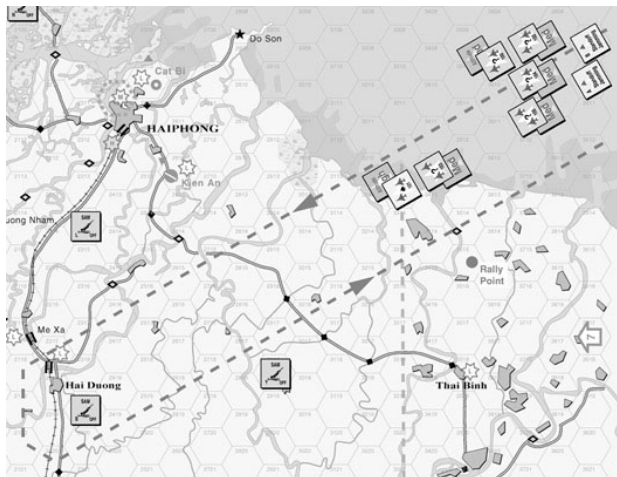
セットアップと第 1 ターンの概要

DRV はハノイ、ハイフォンだけでなく主要な目標 Thai Nguyen 鉄工所や Hai Duong 橋をカバーする広範囲な防御を敷いた。dr により US の目標は Hai Duong 橋、攻撃担当は海軍に決まった。戦闘序列によると USS コーラルシーから海軍のアルファストライクが出撃した。

この海軍侵攻の MiGCAP には F-4B 2 機の編隊が 2 個割り当てられていた。(コールサインは「Showtime」、一般駒は「#100」及び「Old Nick」、一般駒は「#101」; これからは「コールサイン/駒」の形で編隊を示す。)

さらに主力部隊を脅かす SAM 及び AAA を制圧するため CBU を搭載した 2 個の F-4B2 機編隊 (Tempest/102, Killer/103) が武装護衛任務で飛行する。シュライク ARM を

装備した A-4E 2 個編隊 (Silverfox/104, Clansman/105) が先導の CAP から 1 ターン遅れて登場する。これらの「アイアンハンド」部隊は SAM の脅威に対処する。主力の攻撃部隊は 4 機の A-4E 4 個編隊 (Bulldog/108 CBU を搭載し目標をカバーする対空砲を制圧する, Diamond/109, Dogear/200, Redcock/201 通常の爆弾を搭載) である、これを別の F-4B 2 個編隊 (Switchbox/106, Taproom/107) が護衛する。主力部隊は防空制圧部隊が作った狭い窓を利用するためアイアンハンドの 1 ターン後に進入する。



これは第 2 ターン終了時の状態である。点線は (DRV プレイヤーに知られていない) 航路を示す。USN が進入するところに DRV はいないが目標 (Hai Duong 橋) はまだ不明確である。

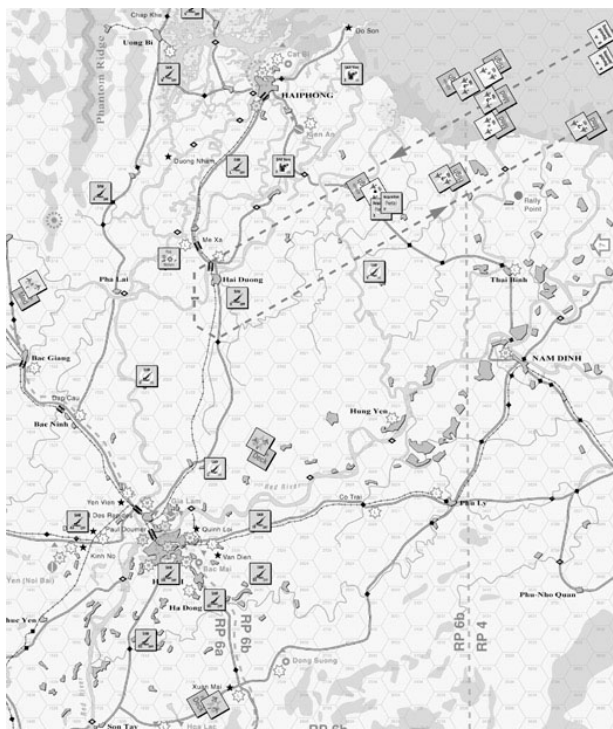
US の計画は SAM 地域に進入する前に MiG の迎撃チャンスできるだけ少なくするために進入ヘクスから目標へ真っ直ぐに引いた。

早期警戒フェイズの結果は「最小限」であった。MiG は空中でゲームを開始できない、従って 2 個の編隊は Kep 及び Hoa Lac で警戒する。DRV にとって困難な状況である。敵を迎撃する位置に付くため MiG はスクランブル発進しなければならない。

第 1 ゲームターン、Kep 及び Hoa Lac から MiG が、Phuc Yen からダミーが離陸した。先導の MiG CAP 及び武装護衛編隊が中高度域で進入した、最低限の早期警戒レベルのため DRV に探知されていない。CAP は海岸線で突然高々度域へ上昇した。

第 2 ゲームターン、ファントムは「feet dry」アイアンハンド部隊がマップへ進入。カウンター C, U, J の MiG は戦闘速度に加速し US のレーダー網をかわすため超低高度域で行動した。にもかかわらず US は幸運にも MiG C を探知、Kep から離陸したばかりの MiG はダミーではなかった。

第 3 ゲームターン、US は Showtime/100 を Kep の MiG に向けて移動させた。DRV は MiG C を中高度域に上昇させた。SAM はスイッチを入れ始めたが、SAM Y (ヘクス 2918) は非探知の Killer/103 編隊の捕捉に失敗した。ヘクス 2514 の SAM P が Old Nick/101 不完全捕捉に成功した、またヘクス 2810 にいる別の SAM X は Old Nick を捕捉するためにスイッチをオンにした。最後にヘクス 2017 に隠匿配置された中レベル AAA が活動状態になった。



これは第 3 ゲームターン終了時におけるハノイ周辺の防衛態勢を示している。3 個の MiG カウンター (2 個だけが本物) が海軍 CAP の先頭に向け進路を取った。

第 4 ゲームターン

ランダムイベントフェイズ: dr は 10。超低高度域で AAA の奇襲。超低高度域に US の編隊がないため効果無し。

ジャミングフェイズ: スタンドオフジャミングマーカー (どちらも EA-1F 'Electric Spads') は動かさない。

探知フェイズ: 全ての US の非探知編隊は中及び高々度域にいる。DRV の探知レベルは B。修正なしで DR が 10 以上であれば海軍の編隊を探知できる。Silverfox/104 A-4E アイアンハンド編隊が探知された。

超低高度域にいる 2 つの DRV 非探知編隊は -5 の DRM を受ける。US の探知レベルは D、従って 18 以上の DR が必要である。わずかな可能性しかない US プレイヤーに奇跡は起こらず敵編隊の探知に失敗した。

戦術ノート: DRV 編隊は探知されにくいグランドクラッターが影響する低空にいるのが賢明である。

移動フェイズ: DRV は先に移動することを選択。ところが第 1 セグメントに 0 のチットを引いてしまい、手番は US プレイヤーに移った。

US のイニシアチブチットは 2。武装護衛編隊 Killer/103 がヘクス 3016 へ移動、次のターンにヘクス 2918 の SAM サイトを爆撃できる位置に付いた。Showtime/100 編隊はヘクス 2913/NW のこう高度域へ移動。CAP は DRV の様子をうかがい好機を待つ。手番は DRV に戻る。

DRV のイニシアチブは 1。MiG C (Kep) はヘクス 1617/S の高々度へ上昇、戦いを挑んだ! 手番は US へ。

US のイニシアチブは 3。打撃任務部隊がマップへ進入。非探知状態で中高度域をトレイル隊形で飛行。Bulldog/108 は 3710/NW、Diamond/109 は 3809/NW、Dogear/200 は 3909/NW で移動を終了。打撃任務の残りの編隊はマップの外に残った。手番は DRV へ。

DRV のイニシアチブは 2。MiG U は非探知状態のままヘクスサイド 2522/2622 ESE へ移動。超低高度域にいる MiG J はヘクスサイド 2333/2433 ESE の低高度域へ上昇。全ての MiG が移動を終えたため残りの US 編隊も全て移動できる。

Taproom/107 は中高度域を保ちながらヘクス 3414 へ移動。武装護衛編隊 Tempest/102 はヘクスサイド 3110/3111 N へ移動。

CAP 編隊 Old Nick/101 は MiG C から 8 ヘクス離れたヘクス 2517/N へ高々度で移動。CAP の移動中に SAM が攻撃した。ヘクス 2810 の SAM X はヘクス 2815 を通過する Old Nick を 5 ヘクスの距離で射撃した。不完全捕捉により -1DRM、DR は 11 で効果無し。攻撃を受けた F-4 は欺瞞ジャミング能力を持ち EA-1F によるマップ外のスタンドオフジャミングを合計して +1DRM を受ける。防御判定も効果無し。ヘクス 2514 の SAM P も同じ編隊をヘクス 2616 で攻撃。この射撃も不完全捕捉による修正とスタンドオフジャミングによる +1 修正を受ける。攻撃判定も防御判定も効果無し。

第 4 ターン最後の移動でアイアンハンドが射撃したばかりの SAM サイトを攻撃した。

中高度域にいる A-4 SEAD 編隊 Silverfox/104 はヘクス 3312 へ移動、右へ 30 度旋回 (N)、ヘクスサイド 3211/3212 へ移動しヘクス 2810 の SAM X へシュライク ARM を打ち上げた。Silverfox は探知されているため SAM はミサイルが命中する前にレーダーをシャットダウンさせることができる。モラル判定は 7 でシャットダウンに失敗、シュライクの攻撃を受ける。空対地攻撃表の PGM 行で US の DR は 19 (!) であった。打ち上げによる -4DRM 及び非発見 SAM による -2DRM を受け修正後 DR は 13、成功値は 2。損害表で DR は 16、SAM は損害を受けた。ラッキーヒットである！ Silverfox/104 はヘクスサイド 3011/3012 N で移動を終了。

もう 1 つの SEAD 編隊、Clansman/105 は 3114 へ移動、右 (N) へ 30 度旋回しヘクスサイド 3013/3014 から 2514 の SAM B にシュライクを打ち上げた。この SAM もシャットダウンに失敗。US プレイヤーの攻撃 DR は 15、-6DRM (打ち上げ/非発見) を受け結果の成功値は 2、しかし損害判定 DR が 6 でこの SAM に対する効果はなかった。

最後に CAP 編隊 Switchbox/106 は非探知状態でヘクス 3612/NW の中高度域へ移動した。

燃料フェイズ： ダッシュ推力を使用した編隊がないため燃料は消費されない。

SAM 発見フェイズ： SEAD 編隊 Clansman/105 は 2514 の SAM P の発見を試みた。Clansman はレーダーがオンでレーダー警戒装置により +1、SAM 発射カウンターが乗せられていることにより +5 の修正を受ける。DR は 6、修正後 DR は 12 となりこの SAM サイトは発見された。

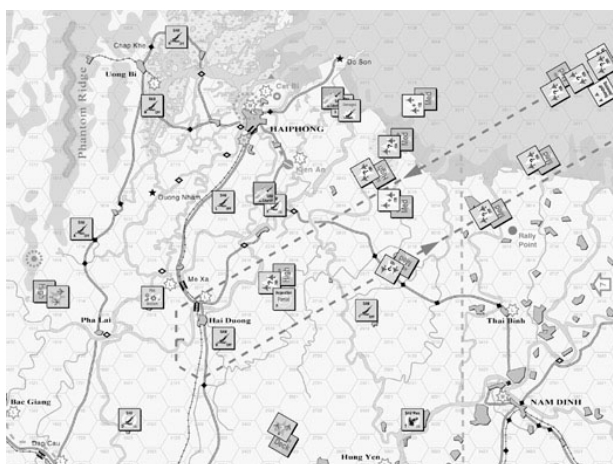
追跡フェイズ： US プレイヤーは探知レベル D で DR は 5、全ての DRV ダイヤモンド編隊の探知を失う。MiG C は非探知状態に戻る。

DRV プレイヤーは探知レベル B で DR は 16、全てのスぺード編隊の探知を失う。Old Nick/101, Silverfox/104, Taproom/107 は非探知になる。

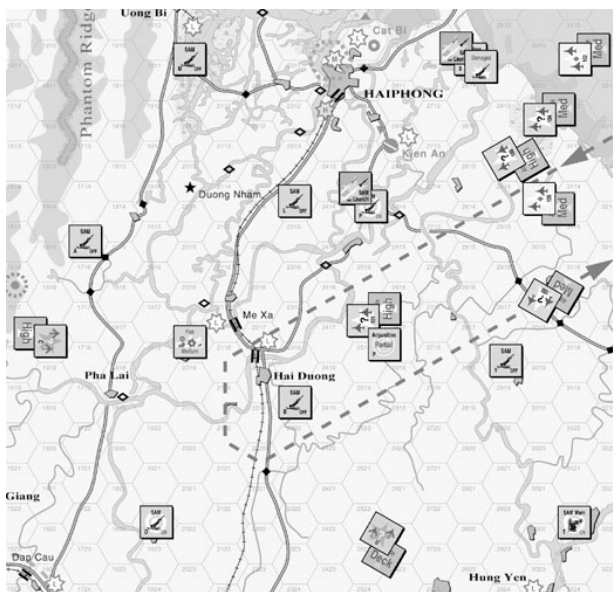
SAM 捕捉フェイズ： 2514 の SAM P は Old Nick/101 への不完全捕捉の維持を試みる。修正は防御ジャミングによる -3 及びスタンドオフジャミングによる -1。SAM 捕捉表の捕捉された目標欄で dr した結果 7 は 3 に修正される。SAM はかろうじて不完全捕捉を維持した。

3122 にいる別の非発見 SAM T が Killer/103 に緊急捕捉を試みる。探知された目標欄で防御ジャミングによる -3、スタンドオフジャミングによる -1、緊急捕捉による -3 が適用される。Dr は 9 で目標の捕捉に失敗した。

管理フェイズ： このフェイズでは 2918 の SAM がシャットダウンしただけであった。次のゲームターンに移る。



第 4 ゲームターン終了時である。主力の攻撃部隊が南東の角から進入。武装護衛と SEAD はスイッチをオンにしたままの 2 つの SAM を制圧するために散っていった。シュライク ARM の幸運な射撃により Do Son 西の SAM は損害を受け行動不能となった。Kep から飛び立った非探知の MiG は Pha Lai へ接近し Hai Duong を高々度で飛行するファントム CAP 編隊に対抗した。



詳細を示す。SAM X は損害を受けている。SAM P は Clansman/105 からの 2 発目のシュライク攻撃にさらされている。CAP 編隊 Old Nick/101 と Showtime/100 は高々度域で MiG C の迎撃に備えている。Killer/103 は発見したがシャットダウンした 2918 の SAM 攻撃しようとしている。それともこれはダミーか？

第 5 ゲームターン

ランダムイベントフェイズ： 超低高度域で AAA の奇襲。超低高度域に US の編隊がないため効果無し。

ジャミングフェイズ： スタンドオフジャミングマーカースは動かない。

探知フェイズ： DRV は前の追跡フェイズで非探知となった Old Nick/101, Silverfox/104, Taproom/107 の探知を試みる。

10 以上の DR が必要となる。DR は 8, 14, 3 であったため Silverfox だけが探知された。DRV は CAP 編隊 Showtime/100 の探知も失敗した、しかし Killer/103, Switchox/106, 及び主力の Bulldog/108, Diamond/109, Dogear/200 を探知した。

US レイヤーは 3 個の MiG に対し探知判定を行った。超低高度域にいる編隊 U は-5 の修正を受けるため 18 以上の DR で探知される。低高度域にいる編隊 J は-3 の修正を受けるため 16 以上の DR で探知される。US は両方とも失敗した。高々度域にいる MiG C は 13 以上の DR で探知される、それでも US は失敗した。しかしながら MiG C は Old Nick/101 のレーダー策敵範囲内にいる。9 ヘクス以上による-2 の修正を受け 12 以上の DR で探知できる。DR は 14 で MiG の探知に成功した。

移動フェイズ： DRV は先に移動。2 のイニシアチブチップを引く。新たな MiG 編隊 B が Gia Lam から離陸した。MiG C は 1919/S へ移動。手番は US プレイヤーへ移る。

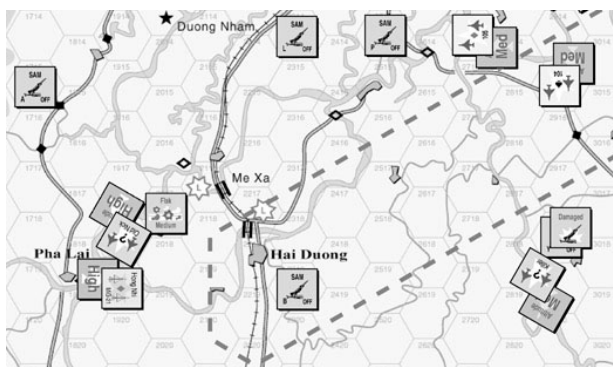
US のイニシアチブチップは 3。2918 の SAM が退出路を塞いでいるため排除する必要がある。武装護衛編隊 Killer/103 は SAM 固有の対空砲を恐れずにヘクスサイド 2917/3017 を IP として急降下爆撃を行った。US プレイヤーは対空射撃の DR に 16 を出され汗をかいた、低高度域に降下した編隊に命中したのだ。対空砲損害表の判定 DR は (爆撃行程中による+1 の修正を受け) 11 で効果無し。この編隊は対空砲の射撃を受けたため目視確認される、一般駒 (103) を Killer 編隊駒に置き換える。

Killer はクラスター爆弾で SAM サイトを攻撃する。F-4B の爆撃力は 1、CBU の効果により 2 倍されさらに非損害航空機の数 (2) を掛けた 4 攻撃値で SAM を攻撃する。対空射撃の妨害により-1 及び低高度域からの爆撃による-1 の修正を受ける。さらに非格納 SAM に対する攻撃による+1 が適用され合計-1 の修正を受ける。空対地攻撃表の 4 の欄で DR する、結果は 8 で (7 に修正される) 2 成功値を得た。損害判定 DR は 11、(これがダメでないとすれば) SAM 及びそのレーダーの機能を停止させるに十分な軽損害を与えた。Killer ファントム編隊は中高度域へ離脱しヘクスサイド 2818/2919 で移動を終了した。

US プレイヤーはさらに 2 個編隊を移動させる。アイアンハンド編隊 Clansman/105 は 2914 へ移動し Old Nick/101 を不完全捕捉しているヘクス 2514 の SAM B ヘシュライク ARM を打ち上げた。その SAM はモラルチェックに失敗しレーダーをシャットダウンした、Old Nick から捕捉マークを取り除く。Clansman/105 は 2714/N で移動を終えた。残りの SEAD 編隊 Silverfox/104 は Nam Dinh の西にいる SAM に対処するためヘクス 2915/W へ移動した。手番は DRV へ移る。

DRV のイニシアチブチップは 1。MiG J はヘクスサイド 2431/2532 へ移動し中高度域へ上昇した、攻撃部隊に対しダッシュしている。今日の MiG は明らかに攻撃的だ!

US のイニシアチブチップは 4。打撃任務部隊は北西へ 3312, 3411, 3511 と移動を続けた。最後に Old Nick/101 はアフターバーナーを点火しダッシュスピードで MiG C を追った。Old Nick はヘクス 2016、ヘクスサイド 1917/2017、ヘクス 1918 を通ったがその全てが 2017 にいる中 AAA の射撃範囲内である。DRV は 17 以上の DR で命中を得る、しかし 3 回の射撃は 4, 7, 15 であった。高々度域で WNW を向いている Old Nick は 1918 から MiG を攻撃した。



空対空戦闘が開始される瞬間の状況。Old Nick が MiG と交戦した。両方の編隊はここで目視確認された。非探知状態であったファントム編隊は非探知のままであることを注意する。

MiG C は探知されているが Old Nick 編隊の F-4B は探知されていない。ファントムは 9 以上の DR で交戦できる、DR は 15 で攻撃性により+1 の修正を受け成功した。MiG は交戦判定に失敗した。非探知編隊には 15 以上の DR が必要であるが 11 を出した、MiG の攻撃性は+0 であった。交戦判定の結果 (攻撃側成功、防御側失敗) は 1 機の MiG-21 と判明した MiG に対し奇襲となった。

空対空戦闘を解決する。ファントムは機動表の 2 機の欄で DR する。修正は相対位置による+1、奇襲による+3、攻撃性の差による+1、機動値の差による-1。DR は 12 (16 に修正される) で 2 回射撃できる。MiG は機動表の 1 機の欄で DR する。MiG への修正は相対位置による-1、不利による-1、攻撃性の差による-1、機動値の差による+1。DR は 8 で-2 の修正を受け少しのところで射撃なしとなった。

F-4 は射撃を解決する。ファントムは最も強力な AIM-9D 赤外線ミサイルの使用を宣言した (AIM-7E スパローの攻撃力は小さい)。最初の射撃で MiG に損害を与えた (DR は 10 で AIM-9D の+3、弾薬欠乏していない追加の兵器の+1 = 14)。2 回目の射撃で撃墜を与えた (DR は 13 で 17 に修正される)。MiG 編隊はマップから取り除かれる。

ファントムは弾薬欠乏判定を行う、dr は 2 で AIM-9D を使い果たした。さらに+1 (攻撃性) 及び+1 (奇襲) の修正を受けモラルチェックを行う。悪い DR 8 は 10 に修正された結果この編隊は混乱状態になった。攻撃性が 1 減少し+0 になった。空戦終了後この編隊は中高度域のヘクス 1818/NW へスカッターし機動マークが置かれる。4 個の US 編隊が移動したので手番は DRV へ移る。

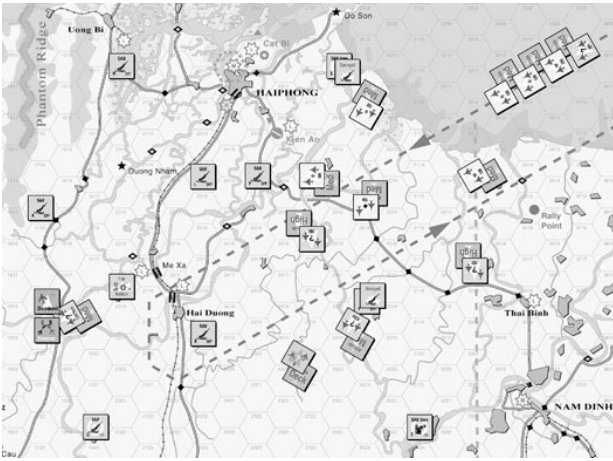
DRV のイニシアチブチップは 1。MiG U は超低高度域のヘクスサイド 2619/2720/ESE へ移動。手番は US へ移る。

US のイニシアチブチップは 2。MiG C を撃墜した US はハノイ空域からやってくる MiG に対処するため CAP を再配置する。Showtime/100 は高々度域の 2716/W へ移動。Taproom/107 は高々度の 3317/W へ移動。

DRV のイニシアチブチップは 2、だが残りは 1 個編隊。MiG J は低高度域のヘクスサイド 2628/2729/ESE へ移動。手番は US に戻る。

US プレイヤーは残りの全ての編隊を移動させる。Tempest/102 は 2912/WWN へ、Switchbox/106 は 3314/NW へ移動。最後に Redcock/201 が非探知状態でマップへ進入し 3710 で移動を終え主力部隊は一回となった。

移動フェイズは終了した。戦闘のスカイホークは海岸線を越えようとし、雷鳴がとどろく...



第5 ゲームターンの移動フェイズ終了時。2 つの SAM と 1 個の MiG 編隊が行動不能になった、主力の打撃部隊が海岸線に近づいた。

プレイの例、終わり